令和２年度

一般入試学生募集要項

山形大学
Yamagata University

目　　次

インターネット出願の流れ…… 1
山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）…… 4
1　入学定員・募集人員……16
2　出願資格・出願要件……17
3　出願に際しての留意事項……18
4　出願受付期間及び出願手続……18
5　出願書類等……22
6　受験票の印刷……24
7　医学部医学科の２段階選抜について……24
8　入学者選抜方法等……25
9　一般入試（前期日程及び後期日程）の学力検査等入試問題について……25
10　入学者選抜の実施教科・科目……26
⑴　大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等……26
☆　大学入試センター試験受験教科・科目確認表【重要】……29
⑵　学部別募集要項細目……32
人文社会科学部……32
地域教育文化学部……37
理学部……41
医学部……43
工学部昼間コース……50
工学部フレックスコース……60
農学部……62
11　受験者心得……64
12　受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談……65
13　合格者の発表……65
14　欠員補充の方法……66
15　山形大学ホームページ……66
16　入学手続……67
17　授業料……67
18　入学案内……68
19　試験場案内……71
☆　入学試験情報開示……76
☆　大学案内及び各学部のパンフレット請求方法……77

自然災害等により被災された
山形大学学部入学志願者の検定料の免除について

山形大学（以下「本学」という。）では，東日本大震災及び平成31年４月以降に発生した自然災害等により被災された方の経済的負担を軽減し，受験機会を提供するために，令和２年度学部入学者選抜試験に係る検定料について，次のとおり免除の特別措置を講じます。

1　免除対象となる入学者選抜試験

本学が実施する令和２年度学部入学者選抜試験（一般入試，ＡＯ入試，推薦入試，社会人入試及び私費外国人留学生入試を対象。）とします。

2　対象者

令和２年４月に本学の学部に入学を志願する方で，出願期間前に自然災害等により被災し，次のいずれかに該当される方を対象とします。

⑴　志願者の学資を主として負担する者（以下「学資負担者」という。）が自然災害等に際して災害救助法の適用された区域に居住し，家屋等が全壊又は大規模半壊の被害を受けた者
⑵　学資負担者が震災等により死亡又は行方不明の者
⑶　学資負担者が震災等により失職した者
⑷　福島第一原子力発電所の事故の際に，帰還困難区域，居住制限区域，避難指示解除準備区域（いずれも平成31年４月10日時点で指定されている区域）に居住していた者

3　本件に関する申請方法等

申請期限は出願期間前になりますのでご注意ください。
詳細は，山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。
https://www.yamagata-u.ac.jp
お問合せ先：山形大学エンロールメント・マネジメント部ＥＭ企画課
TEL（023）628-4062

一般入試（前期日程・後期日程）においてインターネット出願を実施します。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは,以下のとおりです。
出願登録・検定料・出願書類等の詳細は,必ず学生募集要項本文で確認して,不備のないように出願してください。

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5		STEP 6
事前準備	インターネット出願サイトにアクセス	出願内容の登録	検定料の支払い	出願書類等の印刷と郵送又は持参	出願完了	受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン,プリンタ,顔写真データなどを用意してください。（スマートフォン,タブレットは非推奨）
出願に必要な書類には,発行まで時間を要するものがあります。早めに準備を始め,出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

パソコン等の推奨環境は21ページを参照してください。

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/e/yamagata-u/**

又は,

大学ホームページ ▶ **https://www.yamagata-u.ac.jp**

からアクセス

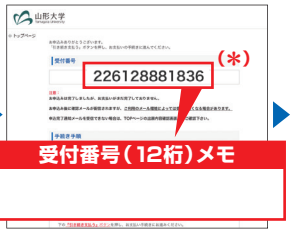
STEP 3 出願内容の登録

「出願内容の確認/入学願書の印刷」ボタンより,受付番号(＊),生年月日,メールアドレスを入力・ログインすると,自分が登録した内容確認,入学願書の出力ができます。

画面の手順や留意事項を必ず確認して,画面に従って必要事項を入力してください。

①試験区分,志望学部・学科等の選択

②個人情報（氏名・住所等）の入力



③出願登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
出願情報を確認する場合と,出願書類等を出力する際に必要になります。

④検定料の支払い方法
- コンビニエンスストア
- ペイジー対応銀行ATM
- ネットバンキング
- クレジットカード

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は,支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えた上,確認メールで通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号番号メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ,セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）											

ローソン,ミニストップ,ファミリーマート,ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）											
確認番号メモ（6桁）						
収納機関番号（5桁）	5	8	0	2	1

※収納機関番号は,ペイジーでお支払いの際に必要となります。

出願登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は,送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので,注意してください。

出願登録完了後は,登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし,検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで,実質的な修正が可能です。
※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は,出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 4

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し,お支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA,Master,JCB,AMERICAN EXPRESS,MUFGカード,DCカード,UFJカード,NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後,ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので,画面の指示に従って操作し,お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

インターネットで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて,コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ / ヤマザキデイリーストアー

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi　LAWSON / MINI STOP
Famiポート　あなたと,コンビに,FamilyMart
クラブステーション　Seicomart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて,ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作の上,お支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し,内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート
店頭レジ	店頭レジ	Loppi	ファミポート	クラブ ステーション
レジで「インターネット代金支払い」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	「各種番号をお持ちの方」を選択	「代金支払い」を選択	「インターネット受付各種代金お支払い」を選択
「払込票番号(13桁)」を伝える	「オンライン決済番号(11桁)」を伝える	「お客様番号(11桁)」を入力	「各種代金お支払い」(マルチペイメントサービス)を選択	「オンライン決済番号(11桁)」を入力
		「マルチペイメントサービス」を選択	「お客様番号(11桁)」入力	
		「確認番号(6桁)」入力	「確認番号(6桁)」入力	
		支払い内容確認	支払い内容確認	支払い内容確認
レジで検定料を現金で支払う		発券された申込券(受付票)をレジへ持参し,検定料を現金で支払う 申込券(受付票)発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		
領収書(レシート形式)を必ず受け取る		取扱明細書兼領収書を必ず受け取る		

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM
ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号(11桁)」入力
「確認番号(6桁)」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う
ご利用明細書を必ず受け取る

STEP 5 出願書類等の印刷と郵送又は持参

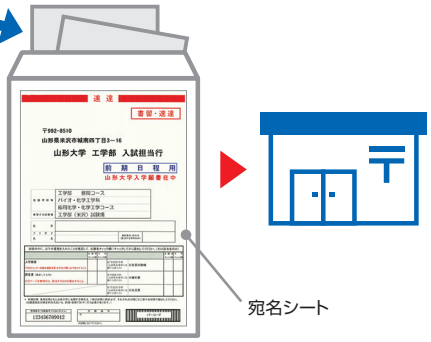
登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録,検定料の支払い後にダウンロードできる書類をカラー印刷し,その他の出願書類等と併せて,出願書類提出期限までに本学に届くように郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送又は持参により提出してください。本ページ下の出願書類提出期限を参照してください。

出願書類

入学願書	センター試験成績請求票	調査書
入学願書	センター試験成績請求票 ※入学願書に貼付	※開封無効

*この他,医学部医学科(前期日程)山形県定着枠志願者は,志望の動機・確約書が必要です。



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)にはり付けて作成

提出先 出願書類の提出先は宛名シートに自動で印字されます。

「入学願書」の印刷方法

「出願内容の確認／入学願書の印刷」ボタンより,受付番号(*),生年月日,メールアドレスを入力・ログインすると,自分が登録した内容確認,入学願書の出力ができます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。
出願に必要な書類は学生募集要項本文を参照してください。

※出願を受理した検定料・出願書類は,募集要項に記載の場合を除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後,検定料を支払い,出願書類等を郵送又は持参して完了となります。登録が完了しても出願書類提出期限までに書類が提出されなければ出願を受理しませんので注意してください。

出願登録及び検定料の支払いは24時間可能です。ただし,出願登録及び検定料の支払いは出願期間最終日の16時30分までです。出願書類等の提出については,以下の出願書類提出期限を参照の上,ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 6 受験票の印刷

出願受付後に,インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。
「出願内容の確認／入学願書の印刷」ボタンからログインして,必ず各自で受験票を印刷し,試験当日に持参してください。

受験票は,令和2年2月12日(水)以降に,印刷可能になります。
試験当日は,各自で印刷した受験票と共に,「大学入試センター試験受験票」も忘れずに持参してください。

受験票のダウンロードが可能になりましたら,出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に片面でカラー印刷してください。

【一般入試(前期日程・後期日程共通)】

出願期間	インターネット出願登録及び検定料支払期間	出願書類提出期限(持参又は郵送(書留速達))
令和2年1月27日(月)～2月5日(水)	令和2年1月27日(月) 9時～2月5日(水) 16時30分	2月5日(水) 16時30分【必着】※

※持参の場合,出願期間中(土・日曜日を除きます。)の9時から16時30分まで受け付けます。
郵送(書留速達)の場合,2月4日(火)までの消印のある「書留速達」のみ,2月6日(木)以降でも受け付けます。

山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

山形大学は，教育目標に定める人材を育成するため，高等学校等の教育課程の教科・科目の修得により培われた基礎学力を備え，主体的に学習や研究に打ち込むための３つのC（Challenge：挑戦意欲，Cooperation：協働意欲，Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。このような学生を適正に受け入れるために，多様な方法で選抜を実施します。

人文社会科学部

人文社会科学部は，人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ，教育力，研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ，卒業後は全国で公務や教育の現場で，あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

人文社会科学部の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つのC）

Challenge：　人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人
Cooperation：　多様な価値観を尊重し，協調性を持って，倫理的に行動できる人
Contribution：　活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

以上のような観点から人文社会科学科各コースでは，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

人文社会科学科

（人間文化コース）

人間文化コースは，文化人類学，日本学，歴史学，文化解釈学，認知情報科学の５つのプログラムから成り，それぞれの学問において，古今東西の文献・作品を分析する資料分析科目，実地に調査を重ねる課題解決型科目，仮説を実証的に検証する実験科目など，人文科学の多彩な手法を用いて研究を進めます。情報処理や語学などの基礎的スキルを学んだ上で，講義・演習で特定分野の専門知を体系的に修得し，その知識をいかした課題解決型の演習に取り組むという過程を通じて，創造性豊かに社会に貢献できる人材を養成します。

人間文化コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・人間とその文化的活動に強い関心を持ち，人文科学の諸分野を学ぶ意欲を持っている人（Challenge）
・異なる意見を理解し,自分の考えを論理的に表現することで,他者との協調を図ることのできる人（Cooperation）
・高等学校卒業水準の基礎的学力を身につけており，大学で習得する知識や経験を社会の課題解決に生かす意欲を有する人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の基礎的学力及び応用的な言語運用能力を身につけた入学者を選抜するために，大学入試センター試験における国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科の教科・科目と国語の個別学力検査を課し，基礎的学力と読解力・論理的思考力・記述力を評価します。

一般入試（後期日程）

高等学校卒業水準の基礎的学力及び応用的な言語運用能力を身につけた入学者を選抜するために，大学入試センター試験における国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科の教科・科目と外国語の個別学力検査を課し，基礎的学力と読解力・記述力を要する英語の学力を評価します。

（グローバル・スタディーズコース）

グローバル・スタディーズコースは，国際地域研究と多文化研究の２つのプログラムから成っています。外国語教育を基盤としつつ，文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究をおこなうことで，地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。

グローバル・スタディーズコースの求める学生像および入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と，勉学の意欲を持っている人（Challenge）
・留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち，相互尊重の精神に基づき，世界の人々と協調して行動する人（Cooperation）
・基礎的な英語力を身につけており，外国語学習への強い関心を持ち，大学で身につける語学力と専門知識を用いて，社会に貢献する意欲を持っている人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の学力を身につけた入学者を選抜するために，大学入試センター試験（国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科）そして個別学力検査（英語）を課します。高等学校で学ぶ教科・科目についての基礎的な知識並びに英語力を評価します。

（総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコース）

各コースの概要は，次のとおりです。

【総合法律コース】

総合法律コースでは，体系的な法学教育を通じて法律学の基礎的知識を修得したうえで，学際的な教育プログラム及び法律専門機関等との連携・協力による実践的視点を養う教育プログラムの履修を通じて，幅広く応用可能な法的思考能力を身につけることができます。法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材を養成します。

【地域公共政策コース】

地域公共政策コースでは，地域社会やコミュニティが抱える様々な課題を適切に把握・分析し，実践的な活動を通じてその解決に取り組むことのできる人材を養成します。産官学民の枠を超えて協働し地域活動や政策形成を行うことのできる，地方創生の担い手として必要な知識・能力を身につけることができます。

【経済・マネジメントコース】

経済・マネジメントコースでは，経済社会で活躍するために不可欠な知識や思考力を身につけることができます。専門科目の体系的な履修に加えて，コース横断的な科目や多彩な実践科目の履修を通じて，経済社会の課題解決と持続可能な地域経済発展に貢献できる人材を養成します。

◆求める学生像

・社会に対する強い関心と社会科学を学ぶ強い意欲を持っている人（Challenge）
・物事を論理的に考える力や自分の考えをわかりやすく伝える力を持ち，異なる価値観を持った人たちと協調的に行動できる人（Cooperation）
・高等学校卒業水準の学力を有し，大学で身に付けた知識や考え方を生かして社会の発展に貢献する意欲のある人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の学力と社会科学を学ぶ上で必要となる学力を身につけた人を選抜するため，大学入試センター試験（国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科）を課します。個別学力検査等では英語・数学のいずれかを課し，基礎的知識，論理的思考力，表現力を評価します。

一般入試（後期日程）

高等学校卒業水準の学力と社会科学を学ぶ上で必要となる学力を身につけた人を選抜するため，大学入試センター試験（国語，外国語，地理歴史，公民，数学，理科）を課します。個別学力検査等では英語を課し，基礎的学力，論理的思考力，表現力を評価します。

地域教育文化学部

地域教育文化学部は，地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学の教育・研究を通じて幅広い視野と探究心，豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち，独創性と柔軟性をもって地域課題に取り組み，地域社会の自律的な発展に寄与する実践的な人材の養成を目的とします。

地域教育文化学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つのＣ）

Challenge：　広い視野に立って，新しいことに挑戦しようとする意欲のある人

Cooperation：　課題に積極的に取り組む行動力，他者を受け入れる包容力，社会性とコミュニケーション能力を備えている人

Contribution：　今日的社会課題とその課題解決に強い関心があり，地域文化の活性化に貢献できる職業に就きたい意欲・情熱を持っている人

◆入学者選抜の基本方針

地域教育文化学部は，地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学について学び，広い視野と探究心，豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観をもって地域の課題に取り組み，地域社会の自律的な発展に寄与する意欲をもった学生を受け入れます。

以上のような観点から，地域教育文化学科の各コースでは，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

地域教育文化学科

（児童教育コース）

本コースでは，高等学校までの基礎的な学力・実技能力を身に付けて，学校・地域・家庭の連携と相互信頼関係の必要性を理解し，今日的社会の要請に応える高度な専門性を有する小学校教員を目指す意欲をもった学生を受け入れます。また，小学校教員に加えて，幼児や障がいのある子どもへの適切な指導を行うことのできる教員や，中学校５教科（国語，社会，数学，理科，英語）のいずれかの専門的知識を有する教員になることを希望する学生を受け入れます。

地域教育文化学科・児童教育コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・小学校教員を目指す人
・小学校教員免許に加えて，幼稚園，特別支援学校，中学校・高等学校５教科（国語，社会，数学，理科，英語，高等学校社会は地歴）のいずれかの免許取得を目指す人
・各教科にわたる基礎的な知識と探究心を備えている人
・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
・子どもを受けとめられる包容力や寛容な心，他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では，５教科６科目又は５教科７科目の試験を課し，高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査としては，英語及び小論文を課します。英語では，本コースの修学に必要な基礎的な学力を検査します。小論文では，主に資料や文章を与え，基礎的な学力に加えて，内容の理解力と論理的思考力・表現力を総合的に評価します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では，５教科６科目又は５教科７科目の試験を課し，高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査等としては，面接により，地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や，本コース志望の動機と勉学意欲や教育に関する幅広い興味・関心等について総合的に評価します。

（文化創生コース）

本コースは，地域社会の持続可能な発展を「こころ」と「からだ」の両面から支援し，市民の主体的な地域文化創生を支援する意欲をもった学生を受け入れます。そのために，高等学校までの基礎的な学力や，得意分野に関するすぐれた理解・技能を有して，地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲をもった学生を受け入れます。

地域教育文化学科・文化創生コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・地域における健康支援や文化的活動に興味や関心のある人
・心理学，栄養学，食品学，スポーツ科学など心身の健康に貢献する学門分野に興味や関心のある人
・音楽，美術，デザインなど芸術文化に関する分野に興味や関心のある人
・保健体育科，音楽科，美術科の中学校・高等学校教員を目指す人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では，５教科６科目又は５教科７科目の試験を課し，高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査としては，英語の試験を課し，考察力・論理的思考力・記述力を総合的に評価します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では，５教科６科目又は５教科７科目の試験を課し，高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査等としては，面接により，地域貢献に対する姿勢や，新たな課題に挑戦しようとする意欲，関心，積極性，コミュニケーション能力とともに，コースに関わる適性等を評価します。

理 学 部

理学部は，自然科学の基礎的分野の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授し，豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち，社会の要請に対し，独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材の育成を目的としています。

山形大学の教育目標を踏まえ，教育プログラム（理学）では，理学の幅広い知識を教授して自然の真理を追究する柔軟な発想力と広い視野を育て，分野横断的な教育・研究を重視した先進的な専門教育により科学的な思考力・表現力・方法論を修得させます。卒業後，独創性と柔軟性をもって様々な分野で人類社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としています。

理学部の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つのＣ）

数学や自然科学の学修に必要な基礎的な学力，論理的思考力及び主体的学習力を持ち，次の３要素（３つのＣ）を備えていること。

Challenge：　数理の世界や自然界のさまざまな現象に強い興味と好奇心を持ち，真理探究や未知なるものの発見や創造に挑戦できる人

Cooperation：　高い倫理観と協調性を持ち，身につけた知識をわかりやすく表現する能力と多様な人々との交流に必要なコミュニケーション能力を持つ人

Contribution：　人間社会の抱える問題を認識し，その解決に向けて，理学的な視野で積極的に貢献しようとする意欲をもつ人

以上のような観点から，理学科では，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

理学科

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

理学科で学ぶ上で必要となる基礎的学力を，総合的に評価するため大学入試センター試験を課します。更に，数学，物理，化学，生物，地学の中から１科目を選んだ個別学力検査を課し，大学入試センター試験の得点及び個別学力検査の得点の合計により合否を判定します。

一般入試（後期日程）

個別学力検査等を課さず，外国語及び理数科目に重点を置く大学入試センター試験の得点により合否を判定します。

医 学 部

医学部には，医学科と看護学科の２学科があります。

医学科は，新設医学部・医科大学の一期校として昭和48年に地域医療の中核として設立され，以来，「広い視野を持ち，自ら学び，考え，創造し，それらを生涯にわたって発展させることのできる医師及び医学研究者を養成する」という建学の精神に基づき，すでに4,275人の卒業生を世に送り出しています。

看護学科は，平成５年に東北・北海道地区ではじめての国立４年制大学として設立されました。時代の要請に柔軟に対応できる知識・技術と豊かな人間性を備えた看護職者を養成し，すでに1,508人の卒業生を医療人及び専門的研究者として世に送り出しています。

医学部の学生は卒業後，地域医療の第一線をはじめとして，日本各地の様々な医療機関で，また国際的にも世界各地の研究機関で広く活躍しています。今後さらに地域に根ざし世界で活躍する医療人を育成するため，医学部は以下の「求める学生像」に記された資質を持っている人を受け入れます。

◆求める学生像（３つのＣ）

Challenge：　科学的研究心が強く，現代の保健医療が抱える諸問題の解決に自ら考え，粘り強い学習意欲を持って挑戦できる人

Cooperation：　医療人に求められる高度な倫理観と豊かな人間性を備えていることに加え，医療活動がチームで行われることをよく理解して共に働く人々と良好な人間関係を形成できる人

Contribution：　世界水準の医学看護学を背景に，高度な地域医療の実践を通じて人類の健康福祉に貢献する意欲をもつ人

◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために，医学科および看護学科では一般選抜入学試験と推薦選抜入学試験を実施します。入学試験では，以下に示す医学科および看護学科のそれぞれのアドミッション・ポリシーに従って，多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。

医学科

「人間性豊かな，考える医師の養成」を建学の精神として，綿密なカリキュラムに基づく厳格な医学教育が行われています。

ヒトゲノム解析など，めざましい先端的な医学研究の進歩を柔軟に医学教育に反映させたカリキュラムの編成により，最新の医学知識を学ぶことができます。達成可能な現実的な目標を設定し，問題解決型の医師の養成をめざした臨床医学教育を実施するためのカリキュラムがきめ細かく編成されています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で臨床医として医療活動に従事していますが，医学研究者として大学・研究所等で活躍している人も数多くいます。

医学教育に加えて，附属病院や地域の病院における診療を通した地域医療への貢献とともに，様々な国際的な医学研究への参画と民間との共同研究も行われています。

このように医学科では，最先端の医療・医学研究の実践を背景に地域に根ざして世界にはばたく医師・医学者の育成を行っています。このような医学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・生物学・医科学分野に対する広い興味を持ち，科学的探求心が強く，旺盛で持続的な学習意欲を持つ人
・心身ともに健康で，柔軟性に富み，倫理性の高い人
・協同作業を行う人々と円滑な人間関係を形成できる高いコミュニケーション能力を持つ人
・地域医療を含め，幅広く医療に貢献することへの志と強い使命感を持つ人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では，５教科７科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査では，国語，英語，数学，理科（物理・化学・生物から２科目を選択）を課し，本学科の修学に必要なより高い学力を検査します。面接では論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む医療人としての適性を総合的に評価します。山形県定着枠については，面接及び「志望の動機」において，山形県内で医療に従事する強い意志も評価します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では，５教科７科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む医療人としての適性を総合的に評価します。

看護学科

生命の尊厳と人権の擁護を重んずる倫理観を基盤とし，誠実で豊かな人間性を備えた看護師・保健師・助産師を育成する看護学教育を行っています。

保健・医療・福祉に関わる人々と協働して，根拠に基づく安全な看護を提供できる人材を育成するためのカリキュラムを編成しています。

社会と人々の生活の変化を敏感に捉え，看護の役割・機能・責務について必要に応じた変革を実行できる看護職者を育成することを教育理念としています。

卒業生の多くは地域及び日本各地の医療機関で看護師，保健師，あるいは助産師として活躍しています。また，教育研究者として大学で活躍している人や海外で活動する人も増加しています。

このように看護学科では，社会からの多様なニーズに応え，人々の健康と福祉の向上に貢献できる看護職・看護教育研究者の育成を行っています。このような看護学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・人々の健康と福祉に強い関心を持ち，科学的に追及する姿勢と持続的な学習意欲を持つ人
・心身ともに健康で，誠実で高い倫理性を持つ人
・他人への思いやりと円滑な人間関係を形成できるコミュニケーション能力を持つ人
・看護職として保健・医療・福祉に貢献することへの強い意志を持つ人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では，５教科６科目又は５教科７科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査では，英語を課し，本学科の修学に必要なより高い学力を検査します。面接では論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む看護職としての適性を総合的に評価します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では，５教科６科目又は５教科７科目の試験を課し，高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む看護職としての適性を総合的に評価します。

工 学 部

山形大学工学部は，人絹（レーヨン）を国内で最初に開発し日本の繊維産業の発展に貢献した米沢高等工業学校を前身とし，現在でも高分子（プラスチックス）に関連した研究では質・量ともに日本をリードする東日本屈指の規模を擁する工学・技術系の学部です。このような伝統と環境の下で「人間性が豊かで数理に強く実践力のある技術者」を養成して我が国の産業と科学技術の発展に大きく寄与し続けています。

工学部の教育プログラムは，昼間コースに高分子・有機材料工学科，化学・バイオ工学科，情報・エレクトロニクス学科，機械システム工学科，建築・デザイン学科，フレックスコースにシステム創成工学科の併せて６学科及び工業数学・物理学担当の共通講座で構成されています。これらの教育プログラムを通して，21世紀の社会と産業の変革に呼応し，「自ら新分野を開拓する能力に溢れた人材の育成」を目標に工学教育を一層充実させ，研究活動を活発化して，科学技術の高度化，産業のグローバル化をリードする教育研究機関としての役割を果たしています。

工学部では，これらの目標達成のため，上記５学科からなる昼間の授業を履修する課程としての昼間コースと，今後益々重要性を増す学際領域の人材育成を目指す課程として，夜間の授業に加えて昼間コースの講義も履修できるフレックスコースを設置しています。フレックスコースは授業料が昼間コースの半額で，米沢キャンパスにおける一貫した少人数教育の実施等，大学院への進学も念頭に置いた教育カリキュラムを実践しています。

工学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つのC）

Challenge：　自然科学や科学技術に対する関心が高く，勉学に対する意欲にあふれ，身のまわりのいろいろなことに好奇心をもって新しいものを創ること，工夫することに情熱を持って取り組める人

Cooperation：　他人への思いやりの心と健全な倫理観を持ち，社会の中での協調性を保ちながら，自ら考えて決断し行動できる人

Contribution：　広く社会に目を向け，工学を通して社会に貢献したい人

◆入学者選抜の基本方針

工学部は，このような入学者を幅広く受け入れるため，大学入試センター試験を1次試験とする一般入試（前期日程・後期日程）に加えて，AO入試Ⅰ（フレックスコース），AO入試Ⅱ（昼間コース），AO入試Ⅲ（センター試験を課す）及び推薦入試Ⅰにより選抜を実施します。

以上のような観点から，各学科では，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

〔昼間コース〕

高分子・有機材料工学科

高分子・有機材料は，金属，セラミックスと並ぶ三大材料の一角を占めており，電子・情報産業から，エネルギー，環境，自動車，航空，宇宙産業，さらには医療・福祉産業に至るまで，我が国の「物づくり」の基盤を支えています。

本学科では，健全かつ幅広い教養と工学の基礎知識に加えて，高分子・有機材料に関して分子レベルから材料レベルまで一貫した幅広い専門知識と深い専門知識の両方を有し，技術開発における現状と問題点を論理的かつ合理的に解析・理解し，それを踏まえて新しい取り組みに対して自発的に行動できる研究者，技術者を育成する教育・研究を行います。

高分子・有機材料工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・高分子・有機材料，自然科学や科学技術に対する関心が高く，勉学に対する意欲と吸収力にあふれ，何事に対しても好奇心と情熱をもってチャレンジできる人
・コミュニケーション能力を有し，他人への思いやりの心と健全な価値観と倫理観を持ち，社会の中で協調性を保ちながら，自ら考え決断・行動し，成長し続けられる人
・広く社会に目を向け，高分子・有機材料工学の技術を通して，強く社会に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また，コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では，個別学力検査として，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）及び理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点との合計により合否を判定します。

後期日程試験では，個別学力検査を課さず，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点により合否を判定します。

化学・バイオ工学科

化学・バイオ工学科は，環境，エネルギー，食糧，医療に代表される21世紀型の諸問題を科学技術の発展により解決するために，その基盤となる化学及びバイオ分野の専門知識と基本技術に関する教育を行い，様々な産業分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

化学・バイオ工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・勉学や科学技術に対する意欲にあふれ，何事にも積極的に取り組める人
・社会の中で協調性と正しい倫理観を持って自ら行動できる人
・応用化学，化学工学，バイオの知識と技術を通して社会に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学，生物等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また，コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では，個別学力検査として，理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点との合計により合否を判定します。

後期日程試験では，個別学力検査を課さず，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点により合否を判定します。

情報・エレクトロニクス学科

情報・エレクトロニクス学科は，“情報”と“もの”が融合した次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献できる心豊かな工学技術者を育成する教育・研究を行います。情報科学に関するコンピュータやネットワークなどのソフトウェア分野と，エレクトロニクスに関する電子物性からエネルギー工学に関わるハードウェア分野との融合領域を共通基盤として，希望に応じた分野ごとの専門的な学習を深めます。さらに，実践的な実習・演習を通じて，社会のニーズに応えられる専門知識を習得し，新しい分野へ応用できる能力を育みます。

情報・エレクトロニクス学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・情報科学や電気・電子通信工学を通して，次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献し，学習意欲と協調性がある人
・テクノロジーの基礎となる数学，物理，英語を積極的に学習できる人
・新しい分野への好奇心とチャレンジ精神のある人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また，コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では，個別学力検査として，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）及び理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点との合計により合否を判定します。

後期日程試験では，個別学力検査を課さず，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点により合否を判定します。

機械システム工学科

機械システム工学科は，機械工学の知識を基礎として，技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し，独創性と創造性に富んだ技術開発を通して，地域・日本のものづくり産業の活性化と社会の発展に国際的視点から貢献できる人材を育成するための教育を行います。

自動車，航空機，船舶，精密機器，ロボット，エネルギー変換などの従来からの機械工学の基幹分野はもとより，生体工学，医用工学，知能工学などを含むより広範な工学分野で活躍可能な人材を輩出します。

機械システム工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・新しいことに挑戦し，地域・日本・世界で羽ばたく意欲のある人
・技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し，何をなすべきかを真剣に考える人
・ものづくりが好きで機械に興味があり，機械技術を通してものづくり産業の活性化に貢献したい人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を習得し将来技術者として活躍するために，高等学校等の教育課程においては数学，物理，化学，外国語（英語）等の基礎学力を十分に身につけていることを求めます。また，コミュニケーション能力の向上や将来社会人として視野を広げていくために，国語，地理歴史・公民等の教科・科目の習得も同時に重要です。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では，個別学力検査として，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）及び理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点との合計により合否を判定します。
後期日程試験では，個別学力検査を課さず，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点により合否を判定します。

建築・デザイン学科

建築・デザイン学科は，建築・デザインに関する分野における活動を通して，世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し，積極的に地域と関わり，地域社会の課題解決，地域産業の振興に貢献できる人材を育成する教育・研究を行います。
建築設計，都市計画，建築史，構造工学，建築環境，工業デザインなど，建築・デザインに関わる学問分野を中心に，他の工学分野とも連携して学際領域で新しい価値を創成することを目指します。
建築・デザイン学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・建築・デザインから他の工学分野にわたる幅広い知識と技術に興味のある人
・積極的に地域と関わり，地域社会の発展に貢献できる人
・世界を見据えつつ，地域で実践する意欲のある人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学，地学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また，コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では，建築学及びデザイン学に関する興味・意欲等の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い，基礎学力，志望動機，学習意欲，表現力，論理的思考力，観察力を評価し，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科６科目又は５教科７科目）の成績との合計により合否を判定します。
後期日程試験では，個別学力検査を課さず，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科６科目又は５教科７科目）の得点により合否を判定します。

〔フレックスコース〕

システム創成工学科

システム創成工学科は，１年次から４年次まで米沢キャンパスで講義，実習等を履修します。自身が学ぶ専門分野は，工学の基礎（数学，物理，化学，機械工学の基礎）を学んだ上で，１年次後期に決定し，２年次以降は各自が選択した専門分野の勉強を昼間コースの学生と一緒に履修していく教育カリキュラムとなっています。また，システム創成工学科では，一人一人の学生が，基礎学力や専門知識をうまく活用し，社会人として活躍していくうえで必要となる基礎的能力を養成するために，地元自治体や他大学と連携し，大学のキャンパス内では収まらない授業も展開しています。

さらに，このフレックスコースには下記のような特長があります。

（１）入学料・授業料が昼間コースの半額
（２）数学・物理などの基礎科目については少人数制教育を実施
（３）一部研究室では，１年次から審査を経てゼミに参加可能
（４）社会人の生涯学習の場としての機能も備え，夜間開講科目のみの履修でも４年間で卒業可能

システム創成工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

・最先端のものづくり産業で活躍することで，地域社会や国際社会に貢献したい人
・工学への強い興味を持ち，自己研鑽に励むことで，自らを高めようという意欲のある人
・柔軟な広い視野を備え，新しいことに挑戦するプロフェッショナルとしての社会人を目指す人
・将来，ものづくり企業で管理職や経営者として活躍したいと考えている人
・数学・物理・語学などの基礎学力をバランス良く持っている人
・学業以外の部活動やボランティア活動などに積極的に参加している人
・バイタリティにあふれ，科学技術の分野で夢や希望を持っている人

◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには，数学，物理，化学等の基礎学力を十分に身につけておくことが重要です。また，コミュニケーション能力の向上やグローバル時代に対応するため，国語，外国語（英語），地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

一般入試（前期日程・後期日程）

前期日程試験では，個別学力検査として，数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）及び理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から１科目選択）を課し，基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点との合計により合否を判定します。

後期日程試験では，個別学力検査を課さず，大学入試センター試験（国語，地理歴史・公民，数学，理科，外国語の５教科７科目）の得点により合否を判定します。

農 学 部

農学部は，日本有数の穀倉地帯であるとともに，豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており，農学，生命科学，フィールドサイエンスなどを学ぶ場として最適の条件を備えています。本学部は食料生命環境学科と附属施設のやまがたフィールド科学センターがあり，21世紀における国内外の諸問題の解決，資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて，活発な教育・研究を進めています。また，大学院修士課程や博士課程に進学して，学問研究をさらに深める道も開かれています。

農学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（３つのC）

Challenge：　知的好奇心が旺盛で，自ら課題を発見し，その解決に向かって行動できる人
Cooperation：　自然と人間を愛し，人との出会いを通じて学びあいたい人
Contribution：　人類社会の直面する食料問題や資源問題，環境問題などに関心を持ち，地域社会及び世界に貢献したい人

◆入学者選抜の基本方針

農学部は，１学科３コース制を導入しています。このため，入学者選抜は食料生命環境学科で一括して行います。入学者選抜方法は，一般入試（前期日程・後期日程），推薦入試及びＡＯ入試があります。

以上のような観点から，食料生命環境学科では，具体的に次のような入学者選抜を実施します。

食料生命環境学科

食料生命環境学科は，１年次に山形市の小白川キャンパスにおいて基盤共通教育科目と広い意味での農学を幅広く学ぶ専門基礎科目を履修して，２年次の鶴岡キャンパスへの移行に伴い，３コースのいずれかに配属となります。２年次からはフィールドワークや実験を多く取り入れた各コースの特色のある専門的な教育を行います。各コースの概要は，次のとおりです。

【アグリサイエンスコース】
安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材を育成します。
安全な農畜産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術を学び，さらに，限られた資源（物的資源，人的資源）を有効に利用するためのマネジメントについて学びます。
【バイオサイエンスコース】
生命科学，食品科学などに関わる現場で活躍できる人材を育成します。
植物や，微生物，高等動物など多様な生物を対象とし，これらがもつ生理機能の解明，有用機能の探索・改良など，広範囲の領域を基礎から応用まで学びます。
【エコサイエンスコース】
森・水・土を知り，地域・地球環境の問題を解決できる人材を育成します。
農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム，機能を理解し，それらが産み出す恵みを享受しながら，将来に渡り持続可能な形で管理，保全するための理論や技術を学びます。

◆求める学生像

・自然に学び，自然について深く考えることのできる人
・人類社会の直面する食料問題や資源問題，環境問題などの解決，生命現象の解明に正面から取り組む意欲を持ち，行動できる人
・論理的に思考し，表現できる人
・基礎的な学力を幅広く身につけている人
・数学，理科等の自然科学に関しては，基礎的な知識を修得するだけでなく，それを応用できる人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程・後期日程）

基礎的な学力を幅広く身につけることを重視していますが，特に自然科学（数学や理科）に関しては，それを応用できるかについても評価します。
前期日程試験では，自然科学の応用力を重視し，大学入試センター試験に加え，個別学力検査（数学・理科（化学）・理科（生物）のいずれか1教科）を課します。
後期日程試験では，総合的な基礎学力を重視し，大学入試センター試験のみを課します。

1　入学定員・募集人員

学部	学科・コース		入学定員	募集人員								
				一般入試		ＡＯ入試			推薦入試		社会人入試	私費外国人留学生入試
				前期日程	後期日程	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ		
人文社会科学部	人文社会科学科	人間文化コース	290	53	7	－	－	－	10	5	－	5
		グローバル・スタディーズコース		25	－	4	－	－	8	8	－	－
		総合法律コース 地域公共政策コース 経済・マネジメントコース		110	15	－	－	－	30	10	若干人	若干人
	計		290	188	22	4	－	－	48	23	若干人	5
地域教育文化学部	地域教育文化学科	児童教育コース	80	48	12	－	－	－	20	－	若干人	若干人
		文化創生コース	95	45	10	(*1)30	－	－	10	－	若干人	若干人
	計		175	93	22	30	－	－	30	－	若干人	若干人
理学部	理学科		210	135	30	－	－	(*2)25	(*2)20	－	－	若干人
	計		210	135	30	－	－	25	20	－	－	若干人
医学部	医学科		105	(*3)65	15	－	－	－	－	25	－	若干人
	看護学科		60	35	5	－	－	－	－	20	－	若干人
	計		165	100	20	－	－	－	－	45	－	若干人
工学部	昼間コース	高分子・有機材料工学科	140	83	10	－	6(2)	6	30	－	－	(*7)16
		化学・バイオ工学科 応用化学・化学工学コース	140	82 (*4)41	10	－	3(1)	5	9	－	－	
		化学・バイオ工学科 バイオ化学工学コース		(*4)41	10	－	3(1)	5	9	－	－	
		情報・エレクトロニクス学科 情報・知能コース	150	88 (*5)44	10	－	3(1)	6	10	－	－	
		情報・エレクトロニクス学科 電気・電子通信コース		(*5)44	10	－	3(1)	6	10	－	－	
		機械システム工学科	140	87	10	－	6(2)	10	24	－	－	
		建築・デザイン学科	30	17	5	－	2(1)	2	4	－	－	
		昼間コース 計	600	357	65	－	(*6)26(9)	40	96	－	－	16
	フレックスコース	システム創成工学科	50	35	5	5	－	－	5	－	若干人	－
		フレックスコース 計	50	35	5	5	－	－	5	－	若干人	－
	計		650	392	70	5	(*6)26(9)	40	101	－	若干人	16
農学部	食料生命環境学科		165	95	25	－	5	－	40	－	－	若干人
	計		165	95	25	－	5	－	40	－	－	若干人
合計			1655	1003	189	39	31	65	239	68	若干人	21

(*1) 地域教育文化学部地域教育文化学科は，次の「実技検査区分／募集人員」で選抜を行います。
・ＡＯ入試Ⅰ／30人…「美術分野／３人程度，音楽分野／13人程度，スポーツ分野／14人程度」

(*2) 理学部理学科は，次の「選抜区分 / 募集人員」で選抜を行います。
・ＡＯ入試Ⅲ／25人…「数学分野受験／５人」，「物理学分野受験／５人」，「化学分野受験／５人」，「生物学分野受験／５人」，「地球科学分野受験／５人」
・推薦入試Ⅰ／20人…「数学分野受験／４人」，「物理学分野受験／４人」，「化学分野受験／４人」，「生物学分野受験／４人」，「地球科学分野受験／４人」

(*3) 医学部医学科「一般入試（前期日程）」募集人員65人の内訳は，「一般枠」50人，「山形県定着枠」15人（うち山形県出身者対象10人，山形県外出身者対象５人）となります。ただし，「山形県定着枠」の山形県出身者合格者数及び山形県外出身者合格者数がそれぞれの募集人員に満たない場合は，その欠員は「一般枠」の募集人員に加えます。なお，「山形県定着枠」志願者は，全員一般枠の併願者となります。

(*4) 工学部化学・バイオ工学科は，各コースの受験者からそれぞれ38人を成績順に合格者とし，残りの６人程度を学科の成績順に合格者とします。

(*5) 工学部情報・エレクトロニクス学科は，各コースの受験者からそれぞれ40人を成績順に合格者とし，残りの８人程度を学科の成績順に合格者とします。

(*6) 工学部昼間コース「ＡＯ入試Ⅱ」募集人員には，山形県内高校等の受験者を対象に合否判定を行う（　）内の人数を含みます。

(*7) 工学部昼間コースの私費外国人留学生入試は，「志願学科・コース」で選抜を行います。

(注) 1　入学定員の中には，若干人と記載のある入試の募集人員を含みます。
2　ＡＯ入試，推薦入試，人文社会科学部人間文化コース及び工学部昼間コースの私費外国人留学生入試において，合格者数が募集人員に満たない場合，その欠員は前期日程の募集人員に加えます。
3　工学部の「昼間コース」は，昼間に授業を行う課程であり，「フレックスコース」は，主として夜間に授業を行いますが，昼間の授業の履修も可能な課程です。

次の学部では，一般入試前期日程試験において所在するキャンパスに設置する試験場に加え，次の地域に試験場を設置します。
工学部昼間コース（建築・デザイン学科を除く。）及びフレックスコース：名古屋市（JR名古屋駅付近）
農学部：山形市（山形大学小白川キャンパス内）
また，人文社会科学部人間文化コースでは，私費外国人留学生入試において所在するキャンパスに設置する試験場に加え，次の地域に試験場を設置する予定です。
東京都内及びモンゴル国ウランバートル市内

２　出願資格・出願要件

次のいずれかに該当し，かつ，令和２年度大学入試センター試験（本学で指定した教科・科目）を受験した者

⑴　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和２年３月卒業見込みの者

⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和２年３月修了見込みの者

⑶　学校教育法施行規則第150条（第６号を除く。）の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和２年３月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）①　平成31年度大学入試センター試験以前の成績は利用しません。

②　学校教育法施行規則第150条第７号（個別の入学資格審査）の規定により本学の入学資格の認定を受けようとする者は，エンロールメント・マネジメント部入試課（TEL（023）628-4141）に連絡してください。

なお，個別の入学資格審査の詳細については，山形大学ホームページの「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしております。

③　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」において，本学が１科目を課す場合の２科目受験者の成績の利用は，第１解答科目の成績を用います。第１解答科目が本学の指定した科目でない場合は，出願資格はありません。

④　出願受付後に次のことが判明した場合は，出願資格が無い者として，受験を認めません。

ア　本学で指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合

イ　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」において，本学が１科目を課す場合の２科目受験者が，本学で指定した科目を第１解答科目で受験していない場合

＜医学部医学科「山形県定着枠」出願要件＞

一般入試（前期日程）医学部医学科「山形県定着枠」を受験できる者は，上記に加え，次の⑴及び⑵の要件を満たす者です。

⑴　次のいずれかに該当する者

①　山形県出身者対象の募集人員10人について出願できる者は，山形県内の高等学校を平成30年４月以降に卒業した者又は令和２年３月卒業見込みの者

②　山形県外出身者対象の募集人員５人について出願できる者は，山形県以外の高等学校若しくは中等教育学校を平成30年４月以降に卒業した者又は令和２年３月卒業見込みの者

⑵　卒業後，山形大学医学部附属病院卒後臨床研修センターの卒後臨床研修プログラムにより２年間の医師臨床研修を行った後，直ちに山形大学医学部附属病院又は山形県内の公的病院を含む「山形大学関連病院会」に加盟する山形県内の医療機関（注１）において，６年間，医学・医療に従事することを確約できる者。ただし，これらの期間に含めることができる期間（注２）とこれらの期間に含めることはできないが中断期間として認める期間（注３）があります。

（注１）　蔵王協議会で定められた，蔵王協議会の構成員となる医療施設
詳しくは次のホームページをご参照ください。
http://www.id.yamagata-u.ac.jp/kbk/index.html

（注２）　山形大学大学院医学系研究科に社会人大学院生として在学しながら医学・医療に従事する期間（標準修業年限に限る）

（注３）　次の期間については，中断期間として認めます。

①　疾病・災害等で医学・医療に従事できない期間

②　産休・育児休業の期間（６ヶ月を超える場合）

③　国内・国外において，勤務を離れて医学研究を行う期間（６ヶ月を超える場合）

④　その他正当な理由があると認められた期間

３　出願に際しての留意事項

⑴　志願者は，国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）「前期日程」で試験を実施する大学・学部から１つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部から１つ，合計２つまでの大学・学部に出願し，受験することができます。

　したがって，「前期－後期」の併願は認められますが，「前期－前期」，「後期－後期」の併願は認められません。

　なお，本学の学部間においても，「前期日程」から１つ，「後期日程」から１つの合計２つの学部又は同一学部の学科・コースに併願することができます。

　また，その場合は，それぞれに出願書類を提出し，検定料を納めなければなりません。

⑵　「前期日程」の試験に合格し，令和２年３月15日（日）までに入学手続を行った者は，出願済みの「後期日程」の試験を受験してもその合格者とはなりません。

⑶　国公立大学の推薦入試合格者及びＡＯ入試合格者は，当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて，本学を受験しても合格者とはなりません。

⑷　国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため，氏名，山形大学受験番号及び大学入試センター試験受験番号に限って，合否及び入学手続等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

　また，本学は，入学試験に関する個人情報を次の目的のために利用します。なお，この目的以外に当該情報を第三者に開示，提供及び預託することはありません。

①　入学者選抜試験実施のため
②　入学手続業務のため
③　入試統計調査のため
④　就学上必要な本学での業務のため
⑤　その他大学として必要な業務のため

４　出願受付期間及び出願手続

⑴　出願受付期間等（前期日程・後期日程共通）

出願期間	インターネット出願登録及び検定料支払期間	出願書類提出期限（持参又は郵送（書留速達））
令和２年１月27日（月）～２月５日（水）	**令和２年１月27日（月）９時～２月５日（水）16時30分**	**２月５日（水）16時30分【必着】** ※持参の場合： 出願期間中（土・日曜日を除きます。）の９時から16時30分まで受け付けます。 郵送の場合： ２月４日（火）までの消印のある「書留速達」のみ，２月６日（木）以降でも受け付けます。

○出願書類が本学に到着したかどうかを確認したい場合は，日本郵便ホームページの「追跡サービス」で配達状況の確認ができます。利用の際は，「書留速達」発送時の受領証に記載されているお問合せ番号が必要になりますので，受領証を大切に保管しておいてください。

日本郵便ホームページのアドレス　https://www.post.japanpost.jp/index.html

（注）出願受付期間は，前期日程，後期日程とも同じですので注意してください。

⑵　**出願方法**

一般入試（前期日程・後期日程）は，インターネット出願のみの受付となります。必ずインターネット出願サイトで出願登録を行い，出願書類等を出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参してください。

出願手続の手順は以下のとおりです。

STEP 1	事前準備	21ページの「（6）事前準備」をよく読んで出願の準備をすすめてください。
STEP 2	インターネット出願サイトにアクセス	インターネット出願サイト（https://e-apply.jp/e/yamagata-u/）又は本学ホームページ（https://www.yamagata-u.ac.jp）からアクセスしてください。
STEP 3	出願内容の登録	インターネット出願サイトの指示に従い，必要な情報を入力してください。
STEP 4	検定料の支払い	インターネット出願サイトの指示に従い，検定料を支払ってください。
STEP 5	出願書類等の印刷と郵送又は持参	インターネット出願サイトから出願書類等をカラー印刷（Ａ４片面）し，他の全ての出願書類等と合わせて出願期間内に本学に届くように，**郵送（書留速達）又は持参**してください。
STEP 6	受験票の印刷	出願が受理された方は，２月12日(水)以降にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。インターネット出願サイトにログインし，志願者が各自カラー印刷（Ａ４片面）して，**必ず試験当日に持参してください。**

（注）なお，前期日程・後期日程ともに本学に出願する場合は，前期日程及び後期日程それぞれにつき最初から入力し，別々に登録する必要があります。引き続き行う検定料の支払い，封筒の準備，出願書類等の印刷及び提出についても，前期日程及び後期日程それぞれについて，別々に行ってください。

出願書類等や受験票の印刷は全て「Ａ４」としてください。ページの拡大／縮小は「なし」で，「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。

⑶　**問合せ先等**

○インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関する問合せ先
株式会社ディスコ「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
電話　0120－202079（平日10：00～18：00／土・日・祝日・年末年始を除く。）

※入試に関する質問については，以下の問合せ先に連絡してください。

○入試全般に関する問合せ先
山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課
電話　(023)628－4142
（平日８：30～17：00／土・日・祝日及び12月30日～１月３日を除く。）

⑷　出願書類提出先及び各学部お問合せ先

出願書類は志願学部の担当部署（以下参照）に提出してください。

（注）１　出願書類については，22ページ「５　出願書類等」を参照してください。

２　出願書類受理後は，出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。

３　出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は，入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

学部	担当部署	住所	電話番号
人文社会科学部	小白川キャンパス事務部入試課 人文社会科学部担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目４－12	（023）628-4207
地域教育文化学部	小白川キャンパス事務部入試課 地域教育文化学部担当		（023）628-4310
理学部	小白川キャンパス事務部入試課 理学部担当		（023）628-4710
医学部	入試担当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目２－２	（023）628-5049
工学部	入試担当	〒992-8510 米沢市城南四丁目３－16	（0238）26-3013
農学部	入試担当	〒997-8555 鶴岡市若葉町１－23	（0235）28-2808

⑸　検定料の支払い

検定料の支払いは，「ＳＴＥＰ３　出願内容の登録」完了後に行います。出願登録完了後に送信される「検定料支払手続きの案内メール」に記載されている，検定料の支払期限内に支払ってください。

なお，出願登録完了後に以下のいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

①出願登録完了画面から引き続き，「引き続き支払う」をクリックする。

②インターネット出願サイトの「出願内容の確認／入学願書の印刷」からログインして，「お支払い手続へ進む」をクリックする。

検定料	支払期間
17,000円 （工学部フレックスコース志願者は,10,000円）	○令和２年１月27日(月) ９時～２月５日(水)16時30分まで ○上記期間内で，インターネット出願登録を完了した日を含む４日以内の23時59分までに支払ってください。ただし，インターネット出願登録を完了した日から４日に満たず２月５日(水)16時30分になった場合は，上記の支払期間が優先され，以降の支払いはできませんのでご注意ください。

※検定料の支払いには，別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は，支払手続き画面に表示されます。

支払方法	取扱機関等
クレジットカード （出願登録に引き続き支払完了）	VISA ／ Master ／ JCB ／ AMERICAN EXPRESS ／ MUFGカード／ DCカード／ UFJカード／ NICOSカード
ネットバンキング （インターネットで手続き完了）	決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です。
コンビニエンスストア	セブン－イレブン／デイリーヤマザキ，ヤマザキデイリーストア（店頭レジにて支払う。）
	ローソン，ミニストップ（Loppi）／ファミリーマート（Famiポート）／セイコーマート（クラブステーション） （各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し，支払う。）
郵便局・銀行ＡＴＭ （ＡＴＭの画面表示に従って必要情報を入力し，支払う）	ペイジー対応銀行ATM（ゆうちょ銀行も含まれます。）

【検定料支払いに関する注意事項】

1．**検定料支払いを完了してもまだ出願手続きは完了していません。**
引き続き，出願書類等の印刷及び提出を，期間内に必ず行ってください。なお，インターネット出願サイトからの出願書類等の印刷は，検定料支払い前にはできません。

2．支払手続きに関する詳細・注意点等は，インターネット出願サイトのトップページ「お支払い方法」も併せて参照してください。

3．支払期限を過ぎると，検定料を支払うことはできません。

4．支払期限内に入金がない場合，申込は自動的にキャンセルになります。

5．インターネット出願登録完了後は，登録内容の修正及び変更はできませんので，誤入力のないよう注意してください。ただし，検定料の支払い前に出願登録内容の誤りに気づいた場合は，検定料を納付せずに，再度「ＳＴＥＰ３　出願内容の登録」からやり直してください（誤った登録データは，支払期間中に検定料が支払われなければ，自動的にキャンセル扱いとなり削除されます。）。

6．クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は，志願者本人でなくても構いません。

【検定料の返還等について】

1　次の場合は，検定料17,000円のうち13,000円（工学部フレックスコースについては，10,000円のうち7,800円）を返還しますので申し出てください。

①　２段階選抜の実施を予告している医学部医学科の第１段階選抜で不合格となった者

②　17ページ「２　出願資格・出願要件（注）④」に該当し，出願資格が無い者として受験を認められなかった者

2　既に払い込んだ検定料は，上記１及び次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

①　検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合）

②　誤って検定料を二重に払い込んだ場合

3　返還についてのお問合せは，志願学部の担当部署（20ページ参照）にお願いします。
なお，申出期限は令和２年３月31日(火)までとします。

4　本学では，東日本大震災及び平成31年４月以降に発生した自然災害等で被災された方の経済的負担を軽減し，受験機会を提供するために，令和２年度学部入学者選抜試験に係る検定料について，免除の特別措置を講じます。詳細は，本要項の目次の下，本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。

⑹　事前準備

インターネット出願登録の前に，あらかじめ余裕をもって確認及び準備をしてください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は，以下の環境で行ってください。 〈ブラウザ〉 ・Microsoft Internet Explorer 11以降 ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 8以降 〈パソコン〉 ・Microsoft Windows 8.1/10 ・Apple Mac OS X 10.8-10.15 ※ブラウザのタブ機能を使用して，複数のタブで同時に申込操作を行うと，選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は行わないでください。 ※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は，閲覧等は可能ですが推奨環境ではありません。一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また，印刷をするための印刷機能を必要としますので，パソコンからの利用を推奨します。

メールアドレスの用意及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので，事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン，携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお，ドメイン指定受信の設定をされている方は，次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp 出願時に登録したメールアドレスに，以下の４回のメールが送信されます。 ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力後の自動送信メール ③検定料支払い完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※試験が終了するまでメールアドレスは変更しないでください。
志願者本人の顔写真（データ）の準備	出願登録に当たって，顔写真データ（ファイル形式自由，２ＭＢまで）が必要です。写真は本人確認に使用しますので，出願前３か月以内に撮影した正面向き，上半身，無帽，背景無しのカラー写真データを準備してください。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような，本人確認に支障のある写真の場合には，出願を受け付けられないことがあるので注意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明，背景が暗い，顔が横向き，化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難，複数名で写っている，画像に加工を施している，プリントされた写真を再撮影しているもの等。
その他出願に必要な書類の用意	高等学校等が発行する「調査書」，大学入試センター試験受験票の下欄に付属の「令和２センター試験成績請求票」等，インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を，出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。（「５　出願書類等」参照） また，医学部医学科山形県定着枠の志願者は「５　出願書類等」を参照の上，出願に必要な書類をインターネット出願サイトからあらかじめダウンロードし，印刷・記入してください。
角形２号封筒の用意	出願書類提出のために，市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）を用意してください。前期日程・後期日程ともに本学に出願する場合は，それぞれにつき１枚ずつ用意してください。
様式印刷の用意（プリンタ，用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は，Ａ４サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので，カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙，ＰＰＣ用紙，ＯＡ共通用紙コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば，公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません（個人情報の取扱いには十分注意してください。）。

５　出願書類等

○前期日程・後期日程

前期日程・後期日程ともに本学に出願する場合は，前期日程及び後期日程それぞれにつき１部ずつ出願書類が必要です。インターネット出願登録，検定料の支払い，封筒の準備，出願書類等の印刷及び提出についても，前期日程及び後期日程のそれぞれについて，別々に行ってください。

出願に必要な書類は次の表のとおりです。出願書類の提出は「ＳＴＥＰ４　検定料の支払い」が完了した後に行います。

入学志願者は，入学願書等の出願書類を一括し，出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

提出された書類に不備・不足等がある場合は，出願書類を受理しないことがありますのでご注意ください。

（注）人文社会科学部人文社会科学科グローバル・スタディーズコースでは後期日程の学生募集はありません。

<table>
<tr><th>出願書類等</th><th colspan="2">出願書類作成上の注意</th></tr>
<tr><td>入学願書</td><td colspan="2">入学願書は，検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトからＡ４片面でカラー印刷してください。
なお，以下の点に留意して提出ください。
【成績請求票】
所定の欄の枠内に，令和２センター試験成績請求票（前期日程に出願する場合は「㊀国公立前期日程用」，後期日程に出願する場合は「㊁国公立後期日程用」）を必ずはり付けてください。

インターネット出願サイトで教科，試験場，入試枠を選択した志願者は，入学願書に選択した情報が記載されます。
【試験場について】
工学部･･･米沢キャンパス（米沢試験場），
愛知県名古屋市（名古屋試験場）
希望する試験場が米沢試験場の方は，全員米沢試験場での受験となります。名古屋試験場については会場の大きさの都合上，ご希望に添えない場合があります。
ただし，建築・デザイン学科は米沢試験場のみでの実施となります。

農学部･･･鶴岡キャンパス（鶴岡市試験場），
小白川キャンパス（山形市（小白川）試験場）</td></tr>
<tr><td rowspan="10">調査書</td><td>1　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業（見込み）者</td><td>調査書（出身学校長が作成し，厳封してください。）
※卒業後，一定の期間を経過し，出身学校から調査書が発行されない場合，卒業証明書，成績証明書（又は単位修得証明書）及び出身学校が発行する理由書（様式任意）を提出してください。
また，出身学校が被災等の理由によって調査書の提出ができない場合は，これにかわる機関の証明をもって調査書に代えることができます。</td></tr>
<tr><td>2　高等専門学校第３学年修了（見込み）者</td><td rowspan="2">文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの（出身学校長が作成し，厳封してください。）</td></tr>
<tr><td>3　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程の修了(見込み)者</td></tr>
<tr><td>4　高等学校卒業程度認定試験合格者又は大学入学資格検定合格者</td><td>合格成績証明書
(高等学校に在学したことがある者は，在学期間中の調査書等を併せて提出してください。)</td></tr>
<tr><td>5　外国において学校教育における12年の課程の修了（見込み）者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの</td><td rowspan="2">卒業（見込み）証明書，成績証明書</td></tr>
<tr><td>6　文部科学大臣の指定した専修学校の高等課程修了（見込み）者</td></tr>
<tr><td>7　WASC，CIS又はACSIの認定を受けた教育施設の12年の課程の修了（見込み）者</td><td>当該教育施設が左記団体から認定を受けていることが明記された証明書，成績証明書</td></tr>
<tr><td>8　国際バカロレア資格を有する者</td><td rowspan="3">資格証書の写し，成績が記載されている証明書</td></tr>
<tr><td>9　アビトゥア資格を有する者</td></tr>
<tr><td>10　バカロレア資格（フランス共和国）を有する者</td></tr>
</table>

出願書類等	出願書類作成上の注意
志望の動機 （前期のみ）（注）	**医学部医学科山形県定着枠の志願者**は，所定の用紙をインターネット出願サイトからダウンロードし，山形県の医療にどのように貢献したいかを含め，400字以内で自由に記入し，提出してください。
確約書 （前期のみ）（注）	**医学部医学科山形県定着枠の志願者**は，所定の用紙をインターネット出願サイトからダウンロードし，両面印刷の上，必要事項をもれなく記入し提出してください。
出願書類提出用 角形２号封筒	市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し，出願書類をすべて封入し，宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により，提出してください。 前期日程・後期日程ともに本学に出願する場合は，前期日程・後期日程それぞれにつき１枚ずつ封筒を用意し，出願書類を提出してください（前期日程の出願書類と後期日程の出願書類を同封しないでください。）。
出願書類提出用 宛名シート	インターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷してください（入学願書と同時に印刷できます。）。 角形２号封筒（24cm×33.2cm）の表面に，はがれないように全面のり付けではり付けてください。 また，本学に併願する者は，封入された書類の日程（前期又は後期）と宛名シートに記載された日程が合致していることを確認してください。

（注）・出願書類等に必要事項を記入する際は，黒のボールペンを使用して，漢字は楷書で書き数字は算用数字を用いてください。ただし，こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は，二重線で消し，訂正印を押してください。
・出願書類等に記入する氏名及び生年月日は必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）のとおりとしてください。

６　受験票の印刷

受験票は，令和２年２月12日(水)に出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信しますので，インターネット出願サイトにログインし受験票をダウンロードしてカラー印刷（Ａ４片面）してください。

なお，メールが令和２年２月13日(木)までに届かない場合であっても，出願が受理されていれば，令和２年２月12日(水)以降に受験票のダウンロードができます。ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合，志願学部の担当部署（20ページ参照）へ連絡してください。

試験当日は，「大学入試センター試験受験票」と「山形大学入学試験受験票」の２つの受験票を必ず持参してください。「山形大学入学試験受験票」は，切り取り線に沿って切り取り，持参してください。

(注)**「大学入試センター試験受験票」は入学手続の際に，「山形大学受験票」は入学試験情報開示（76ページ参照）の際に必要になります**ので，大切に保管してください。

７　医学部医学科の２段階選抜について

第１段階選抜（前期日程・後期日程）実施の有無については，令和２年２月12日(水)までに山形大学ホームページに掲載します。

第１段階選抜を実施しない場合は，医学部医学科入学志願者全員に，「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。

なお，第１段階選抜を実施した場合，合格者には「受験票ダウンロード通知メール」を送信し，不合格者には「第１段階選抜結果通知書」を郵送します。

第１段階選抜の結果発表後，２営業日以上たっても受験票のダウンロードができない場合は医学部入試担当（20ページ参照）にお問合わせください。

8　入学者選抜方法等

大学入試センター試験，個別学力検査等及び出身学校長から提出される調査書等を総合して行います。

したがって，志願する学部等の課す大学入試センター試験及び個別学力検査等をすべて受験しなければ失格となります。

また，入学者の選抜及び合格者の決定は，次の募集単位ごとに行います。

⑴　人文社会科学部

コース単位で行います。

ただし，総合法律コース，地域公共政策コース及び経済・マネジメントコースは，３つを１つの単位として行います。そのため，総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースという表記を適宜用います。

⑵　地域教育文化学部

コース単位で行います。

⑶　理学部

学科単位で行います。

⑷　医学部

学科単位で行います。

なお，医学科の「山形県定着枠」入試においては，大学入試センター試験において710点以上を得た受験者の中から大学入試センター試験，個別学力検査等及び出身学校長から提出される調査書等を総合して行います。

⑸　工学部

学科単位で行います。

ただし，化学・バイオ工学科及び情報・エレクトロニクス学科は，コース単位で行います。

⑹　農学部

学科単位で行います。

9　一般入試（前期日程及び後期日程）の学力検査等入試問題について

⑴　本学のアドミッション・ポリシーを実現するため，必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」の参加大学及び提供大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし，必ず使用するとは限りません。

⑵　上記⑴により本宣言の対象となる入試過去問題について，本学では，一般入試の小論文も対象とします。

⑶　入試過去問題を使用する際は，そのまま使用することも，一部改変することもあります。また，使用した過去問題については，入学試験終了後，受験者に分かるような形で公表します。

⑷　「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学等の一覧は，次のホームページで公表しています（http://nyushikakomon.jp/）。

10　入学者選抜の実施教科・科目

(1)　大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

学部（学科，コース）名			日　程	教科・科目名	
				教科	科目名等
人文社会科学部	人文社会科学科	人間文化コース	前期 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 } から2 数Ⅰ，数Ⅰ・数A， 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基，化基，生基，地学基から2 ②物，化，生，地学から1 英（リスニングを含みます。），独，仏，中，韓から1 〔5教科6科目，5教科7科目，6教科6科目又は6教科7科目〕
		グローバル・スタディーズコース	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 } から2 数Ⅰ，数Ⅰ・数A， 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基，化基，生基，地学基から2 ②物，化，生，地学から1 英（リスニングを含みます。），独，仏，中，韓から1 〔5教科6科目，5教科7科目，6教科6科目又は6教科7科目〕
		総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース	前期 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 } から2 数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基，化基，生基，地学基から2 ②物，化，生，地学から1 英（リスニングを含みます。），独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目，5教科8科目，6教科7科目又は6教科8科目〕
	※配点については，32ページから36ページを参照してください。				

学部（学科，コース）名			日程	教科・科目名	
				教科	科目名等
地域教育文化学部	地域教育文化学科	児童教育コース	前期 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 } から1 数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数Bから1 以下のパターン①又は②から1 ①物基，化基，生基，地学基から2 ②物，化，生，地学から1 英（リスニングを含みます。），独，仏，中，韓から1 〔5教科6科目又は5教科7科目〕
		文化創生コース	前期 後期		
	※配点については，37ページから40ページを参照してください。				
理学部	理学科		前期 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 } から1 数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1 以下のパターン①又は②から1 ①物基，化基，生基，地学基から2 物，化，生，地学から1 ＊同一名称の付く科目の選択は認めない。 ②物，化，生，地学から2 英（リスニングを含みます。），独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目又は5教科8科目〕
	※配点については，41ページから42ページを参照してください。				
医学部	医学科		前期 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物，化，生から2 英（リスニングを含みます。），独，仏から1 〔5教科7科目〕
	看護学科		前期 後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B 現社，倫，政経，倫・政経 } から1 数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数Bから1 以下のパターン①又は②から1 ①物基，化基，生基，地学基から2 ②物，化，生，地学から1 英（リスニングを含みます。），独，仏から1 〔5教科6科目又は5教科7科目〕
	※配点については，43ページから49ページを参照してください。				

<table>
<tr><th colspan="3">学部（学科，コース）名</th><th>日　程</th><th colspan="2">教　科　・　科　目　名</th></tr>
<tr><th colspan="3"></th><th></th><th>教科</th><th>科　目　名　等</th></tr>
<tr><td rowspan="13">工学部昼間コース</td><td colspan="2" rowspan="2">高分子・有機材料工学科</td><td>前　期</td><td rowspan="13">国
地歴
公民
数

理
外</td><td rowspan="13">国
世A，世B，日A，日B，地理A，地理B
現社，倫，政経，倫・政経 } から1
数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1
数Ⅱ，数Ⅱ・数Bから1
物，化，生から2
英（リスニングを含みます。）
〔5教科7科目〕</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td rowspan="4">化学・バイオ工学科</td><td rowspan="2">応用化学・化学工学コース</td><td>前　期</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バイオ化学工学コース</td><td>前　期</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td rowspan="4">情報・エレクトロニクス学科</td><td rowspan="2">情報・知能コース</td><td>前　期</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電気・電子通信コース</td><td>前　期</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">機械システム工学科</td><td>前　期</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">建築・デザイン学科</td><td>前　期</td><td rowspan="2">国
地歴
公民
数

理

外</td><td rowspan="2">国
世A，世B，日A，日B，地理A，地理B
現社，倫，政経，倫・政経 } から1
数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1
数Ⅱ，数Ⅱ・数Bから1
以下のパターン①又は②から1
①物基，化基，生基，地学基から2
②物，化，生，地学から1
英（リスニングを含みます。）
〔5教科6科目又は5教科7科目〕</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td colspan="5">※配点については，50ページから59ページを参照してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">工学部フレックスコース</td><td colspan="2" rowspan="2">システム創成工学科</td><td>前　期</td><td rowspan="2">国
地歴
公民
数

理
外</td><td rowspan="2">国
世A，世B，日A，日B，地理A，地理B
現社，倫，政経，倫・政経 } から1
数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1
数Ⅱ，数Ⅱ・数Bから1
物，化，生から2
英（リスニングを含みます。）
〔5教科7科目〕</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td colspan="5">※配点については，60ページから61ページを参照してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">農学部</td><td colspan="2" rowspan="2">食料生命環境学科</td><td>前　期</td><td rowspan="2">国
地歴
公民
数

理

外</td><td rowspan="2">国
世A，世B，日A，日B，地理A，地理B
現社，倫，政経，倫・政経 } から1
数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1
数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1
以下のパターン①又は②から1
①物基，化基，生基，地学基から2
物，化，生，地学から1
＊同一名称の付く科目の選択は認めない。
②物，化，生，地学から2
英（リスニングを含みます。），独，仏，中，韓から1
〔5教科7科目又は5教科8科目〕</td></tr>
<tr><td>後　期</td></tr>
<tr><td colspan="5">※配点については，62ページから63ページを参照してください。</td></tr>
</table>

（注）大学入試センター試験の受験を要する教科・科目に係る利用方法については，32ページ以降の「(2)学部別募集要項細目」の「配点等」欄を参照してください。

☆　大学入試センター試験受験教科・科目確認表【重要】

〔確認方法〕

下表は，本学が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験したことを確認するための表です。26～28ページの志願学部の「入学者選抜の実施教科・科目」の表を参照の上，インターネット出願登録を行う前に，必ず **志願者本人** が下表の確認欄に〇をつけて確認してください。

受験していない科目が１科目でもある場合は，出願することができません。

また，「外国語」で「英語」を選択した場合は，筆記に加えて必ずリスニングを含みます。

前期日程　後期日程　人文社会科学部　人文社会科学科　人間文化コース

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語				
科目	国語		世界史B		日本史B		地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【筆記】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	1	「地理歴史から2」又は「地理歴史から1」＋「公民から1」										1						「理科①から2」又は「理科②から1」								1					
確認欄																														

前期日程　人文社会科学部　人文社会科学科　グローバル・スタディーズコース

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語				
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【筆記】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	1	2										1						「理科①から2」又は「理科②から1」								1					
確認欄																														

前期日程　後期日程　人文社会科学部　人文社会科学科　総合法律 / 地域公共政策 / 経済・マネジメントコース

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語				
科目	国語		世界史B		日本史B		地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【筆記】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	1	「地理歴史から2」又は「地理歴史から1」＋「公民から1」										1		1				「理科①から2」又は「理科②から1」								1					
確認欄																														

前期日程　後期日程　地域教育文化学部　地域教育文化学科　児童教育コース

前期日程　後期日程　地域教育文化学部　地域教育文化学科　文化創生コース

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語				
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B			物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【筆記】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	1	1										1		1				「理科①から2」又は「理科②から1」								1					
確認欄																														

前期日程　後期日程　理学部　理学科

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語					
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【筆記】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	1	1										1		1				「理科①から2」＋「理科②から1」※又は「理科②から2」								1					
確認欄																															

※同一名称の付く科目の選択は認めない。

前期日程　後期日程　医学部　医学科

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語					
科目	国語		世界史B		日本史B		地理B				倫理、政治・経済		数学Ⅰ・数学A		数学Ⅱ・数学B							物理	化学	生物		英語【筆記】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語		
指定数	1	1										1		1				0				2				1					
確認欄																															

前期日程　後期日程　医学部　看護学科

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語					
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B			物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【筆記】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語		
指定数	1	1										1		1				「理科①から2」又は「理科②から1」								1					
確認欄																															

前期日程　後期日程　工学部昼間コース　高分子・有機材料工学科
前期日程　後期日程　工学部昼間コース　化学・バイオ工学科　応用化学・化学工学コース
前期日程　後期日程　工学部昼間コース　化学・バイオ工学科　バイオ化学工学コース
前期日程　後期日程　工学部昼間コース　情報・エレクトロニクス学科　情報・知能コース
前期日程　後期日程　工学部昼間コース　情報・エレクトロニクス学科　電気・電子通信コース
前期日程　後期日程　工学部昼間コース　機械システム工学科
前期日程　後期日程　工学部フレックスコース　システム創成工学科

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語					
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B							物理	化学	生物		英語【筆記】	英語【リスニング】				
指定数	1	1										1		1				0				2				1					
確認欄																															

前期日程　後期日程　工学部昼間コース　建築・デザイン学科

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語					
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B			物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【筆記】	英語【リスニング】				
指定数	1	1										1		1				「理科①から2」又は「理科②から1」								1					
確認欄																															

前期日程　後期日程　農学部　食料生命環境学科

教科	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科①				理科②				外国語				
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【筆記】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	1	1										1		1				「理科①から2」＋「理科②から1」※又は「理科②から2」								1				
確認欄																														

※同一名称の付く科目の選択は認めない。

⑵　学部別募集要項細目

人文社会科学部

○志願コースは，１コースのみとし，第２志願は認めません。
○総合法律コース，地域公共政策コース及び経済・マネジメントコースは，３つを１つの単位として募集します。そのため，「総合法律／地域公共政策／経済･マネジメントコース」と表記します。
○試 験 場：人文社会科学部試験場　山形市小白川町一丁目４－12（ただし，学外（山形市内）にも試験場を設けることがあります。）

人文社会科学科人間文化コース･･････前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>53人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月26日（水）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>10：00～12：00</td><td>国語</td></tr>
</table>
国語は，「国語総合・現代文Ｂ」を指定科目とします。
国語総合の出題範囲：「近代以降の文章」
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100又は200)</td><td>公民
(0又は100)</td><td>数学
(100)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">２科目200</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td><td rowspan="2">1,200</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td>400</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>400</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「地歴」の素点（100又は200）及び「公民」の素点（0又は100）とあるのは，選択した科目数によるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」，「公民」については，世B，日B，地理Bのうち少なくとも１科目を含むこととします。
3　大学入試センター試験の「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
4　大学入試センター試験の「数学」について，指定された科目数を超えて受験した場合は，高得点の科目の成績を用います。
5　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付していない科目」から２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
6　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査の国語では，読解力・論理的思考力・記述力を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の成績，個別学力検査等の成績及び調査書を総合して判定します。</td></tr>
</table>

人文社会科学科人間文化コース・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>７人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年３月12日（木）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>10：00～11：00</td><td>外国語</td></tr>
</table>
外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100又は200)</td><td>公民
(0又は100)</td><td>数学
(100)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">２科目 200</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「地歴」の素点（100又は200）及び「公民」の素点（0又は100）とあるのは，選択した科目数によるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」，「公民」については，世B，日B，地理Bのうち少なくとも１科目を含むこととします。
３　大学入試センター試験の「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
４　大学入試センター試験の「数学」について，指定された科目数を超えて受験した場合は，高得点の科目の成績を用います。
５　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付していない科目」から２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
６　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査の外国語では，英語の基礎的学力を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の成績，個別学力検査の成績及び調査書を総合して判定します。</td></tr>
</table>

人文社会科学科グローバル・スタディーズコース……前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>25人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>15：00～16：30</td><td>外国語</td></tr>
</table>
外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(0,100
又は200)</td><td>公民
(0,100
又は200)</td><td>数学
(100)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">２科目200</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td><td rowspan="2">1,200</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>400</td><td>400</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「地歴」の素点（0,100又は200）及び「公民」の素点（0,100又は200）とあるのは，選択した科目数によるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
3　大学入試センター試験の「数学」について，指定された科目数を超えて受験した場合は，高得点の科目の成績を用います。
4　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付していない科目」から２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
5　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査の外国語では，英語の基礎的学力を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の成績，個別学力検査の成績及び調査書を総合して判定します。</td></tr>
</table>

人文社会科学科総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース……前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>110人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>12：30～14：00</td><td>数学</td></tr>
<tr><td>15：00～16：30</td><td>外国語</td></tr>
</table>
1　数学，外国語のうち，出願時に選択した１教科を受験してください。
2　数学は，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ」を指定科目とします。
ただし，数学Ｂの出題範囲は，「数列」，「ベクトル」とします。
3　外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100又は200)</td><td>公民
(0又は100)</td><td>理科
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">２科目200</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">1,200</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">いずれか１教科300</td><td>300</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「地歴」の素点（100又は200）及び「公民」の素点（0又は100）とあるのは，選択した科目数によるものです。
(3) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(4) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」，「公民」については，世B，日B，地理Bのうち少なくとも１科目を含むこととします。
3　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付していない科目」から２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
4　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>
1　個別学力検査の数学では，推理力，論理的思考力，記述力を基準に評価します。
2　個別学力検査の外国語では，英語の基礎的学力を評価します。
3　個別学力検査における数学の平均点と外国語の平均点とに大きな開きがあった等の場合には，得点調整を行うことがあります。
</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の成績，個別学力検査の成績及び調査書を総合して判定します。</td></tr>
</table>

人文社会科学科総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース……後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>15人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年３月12日（木）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>10：00～11：00</td><td>外国語</td></tr>
</table>
外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100又は200)</td><td>公民
(0又は100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">２科目200</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">1,000</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「地歴」の素点（100又は200）及び「公民」の素点（0又は100）とあるのは，選択した科目数によるものです。
(3) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(4) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」，「公民」については，世B，日B，地理Bのうち少なくとも１科目を含むこととします。
3　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付していない科目」から２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
4　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査の外国語では，英語の基礎的学力を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の成績，個別学力検査の成績及び調査書を総合して判定します。</td></tr>
</table>

地域教育文化学部

○志願コースは，１コースのみとし，第２志願は認めません。

○試 験 場：地域教育文化学部試験場　山形市小白川町一丁目４－12（ただし，学外（山形市内）にも試験場を設けることがあります。）

地域教育文化学科児童教育コース・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>48人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>12：30～14：00</td><td>小論文</td></tr>
<tr><td>15：00～16：30</td><td>外国語</td></tr>
</table>
1　小論文は，主に資料や文章を与え，内容の理解力等を問います。
2　外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小論文</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td></td><td>800</td><td rowspan="2">1,200</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td><td>400</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>
1　小論文では，基礎的な学力に加えて，内容の理解力と論理的思考力・表現力を総合的に評価します。
2　個別学力検査の外国語では，英語の基礎的学力を評価します。
</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点の合計点及び調査書を総合的に評価して合否を判定します。</td></tr>
</table>

地域教育文化学科児童教育コース・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>12人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年３月12日（木）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～17：00</td><td>面接</td></tr>
</table>
面接は，次のとおり実施します。
<table>
<tr><td>面接方法</td><td>複数の面接担当者による個別面接</td></tr>
<tr><td>面接時間</td><td>10分程度</td></tr>
<tr><td>面接内容</td><td>以下の項目で総合的に評価できる複数の質問を行います。
１　本コース志望の動機と勉学意欲
２　教育に関する幅広い興味・関心</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>面接</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td></td><td>800</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
３　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>面接では，コースに関わる意欲・関心や適性等を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点の合計点及び調査書を総合的に評価して合否を判定します。</td></tr>
</table>

地域教育文化学科文化創生コース・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>45人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>15：00～16：30</td><td>外国語</td></tr>
</table>
外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td><td rowspan="2">1,000</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
３　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査の外国語では，英語の基礎的学力を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の得点と個別学力検査の得点の合計点及び調査書を総合的に評価して合否を判定します。</td></tr>
</table>

地域教育文化学科文化創生コース・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>10人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年３月12日（木）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～17：00</td><td>面接</td></tr>
</table>
面接は，次のとおり実施します。
<table>
<tr><td>面接方法</td><td>複数の面接担当者による個別面接</td></tr>
<tr><td>面接時間</td><td>５～10分程度</td></tr>
<tr><td>面接内容</td><td>以下の項目で総合的に評価できる複数の質問を行います。
１　本コース志望の動機と勉学意欲
２　地域における心身の健康支援（心理，食，スポーツ）や芸術文化（音楽，美術）の振興に関する興味・関心</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>面接</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="3">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td></td><td>800</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
３　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>面接では，新たな課題に挑戦しようとする意欲，関心，積極性等を重視するとともに，コースに関わる適性等を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点の合計点及び調査書を総合的に評価して合否を判定します。</td></tr>
</table>

理　学　部

○試 験 場：理学部試験場　山形市小白川町一丁目４－12（ただし，学外（山形市内）にも試験場を設けることがあります。）

○後期日程の志願者には，個別学力検査を課しませんので，受験のために本学部（山形市）へ来学する必要はありません。

理学科・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>135 人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="3">令和２年２月 25 日（火）</td></tr>
<tr><td>試　験　時　間</td><td>試験教科等</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td rowspan="4">9：30 ～ 11：30</td><td>理科（物理）</td><td rowspan="5">左記の５つの教科（科目）のうち，出願時に選択した１つの教科（科目）を受験してください。</td></tr>
<tr><td>理科（化学）</td></tr>
<tr><td>理科（生物）</td></tr>
<tr><td>理科（地学）</td></tr>
<tr><td>12：30 ～ 14：30</td><td>数　　学</td></tr>
</table>
1　理科（物理）は，「物理基礎・物理」を指定科目とします。
2　理科（化学）は，「化学基礎・化学」を指定科目とします。
3　理科（生物）は，「生物基礎・生物」を指定科目とします。
4　理科（地学）は，「地学基礎・地学」を指定科目とします。
5　数学は，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ」を指定科目とします。
ただし，数学Ｂの出題範囲は，「数列」，「ベクトル」とします。
</td></tr>
<tr><td>配　点　等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試　験　区　分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆 記 (200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ (50)</td><td>小　計</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="3">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">1,400</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">いずれか1教科(科目)
500</td><td></td><td>500</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，「数学」については２科目，「理科」については２科目又は３科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　大学入試センター試験の「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基　　準</td><td>個別学力検査では，考察力，推理力，論理的思考力，記述力を基準に評価します。</td></tr>
<tr><td>合 否 判 定基　　準</td><td>大学入試センター試験及び個別学力検査の成績の合計の高得点順に合格とします。
また，同点の場合は，調査書の全体の評定平均値により順位を付けます。</td></tr>
</table>

理学科・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>30人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>個別学力検査は課しません。</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか1教科
100</td><td>＊400</td><td>＊400</td><td>＊400</td><td>1,500</td><td rowspan="2">1,500</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，「数学」については２科目，「理科」については２科目又は３科目を課すことによるものです。
(3) センター試験の＊は，傾斜配点していることを示します。
(4) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 400 点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　大学入試センター試験の「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td></td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の成績の合計の高得点順に合格とします。
また，同点の場合は，調査書の全体の評定平均値により順位を付けます。</td></tr>
</table>

医　学　部

○志願学科は，１学科のみとし，第２志願は認めません。
○試 験 場：医学部試験場　山形市飯田西二丁目２－２

医学科・・・・・・前期日程（一般枠）

医学科前期日程（一般枠）を志願する方は，インターネット出願登録時に「入試枠」欄で「一般枠」を選択してください。

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>50人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td><td colspan="2">令和２年２月26日（水）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～11：30</td><td>理科</td><td>10：00～11：30</td><td>国語</td></tr>
<tr><td>12：30～14：30</td><td>数学</td><td>12：30～15：30（予定）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td>15：30～17：00</td><td>外国語</td><td></td><td></td></tr>
</table>
理科は，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」の３科目から２科目選択とします。
数学は，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ」を指定科目とします。
外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
国語は，「国語総合・現代文Ｂ」を指定科目とします。
数学Ｂの出題範囲：「数列」，「ベクトル」
国語総合の出題範囲：「近代以降の文章」
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>面接</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">1,600</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td>100</td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>700</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
３　面接の評価は，調査書の評価を含みます。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査では，考察力，推理力，論理的思考力，記述力を基準に評価します。
面接では，論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む医療人としての適性を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験，個別学力検査の成績及び面接（調査書の評価を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。
なお，面接の結果によっては，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。
また，総合点が同点の場合は，個別学力検査等の成績により順位を付けます。</td></tr>
</table>

（注）１　入学志願者が募集人員（65人）の５倍を超え，個別学力検査等を適切に実施できない場合には，大学入試センター試験の成績（本学科指定の科目及び配点）により第１段階選抜を行い，その合格者に対して第２段階選抜の個別学力検査等を行います。なお，第１段階選抜を実施する場合は，「一般枠」と「山形県定着枠」を一括して行います。

２　第１段階選抜の実施の有無については，令和２年２月12日(水)までに山形大学ホームページに掲載します。

第１段階選抜を実施しない場合は，志願者全員に「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。

なお，第１段階選抜を実施した場合，合格者には「受験票ダウンロード通知メール」を送信し，不合格者には「第１段階選抜結果通知書」を郵送します。

３　志願状況は，山形大学ホームページで公表しますので，66ページを参照してください。

医学科・・・・・・前期日程（山形県定着枠）

出願要件については，17ページの＜医学部医学科「山形県定着枠」出願要件＞を必ず確認してください。

医学科前期日程（山形県定着枠）を志願する方は，インターネット出願登録時に「入試枠」欄で以下のいずれかを選択してください。

「山形県定着枠（山形県出身者対象）（「一般枠」優先を希望する）」
「山形県定着枠（山形県出身者対象）（「一般枠」優先を希望しない）」
「山形県定着枠（山形県外出身者対象）（「一般枠」優先を希望する）」
「山形県定着枠（山形県外出身者対象）（「一般枠」優先を希望しない）」

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>15人（山形県出身者10人，山形県外出身者５人）</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td><td colspan="2">令和２年２月26日（水）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～11：30</td><td>理科</td><td>10：00～11：30</td><td>国語</td></tr>
<tr><td>12：30～14：30</td><td>数学</td><td>12：30～15：30（予定）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td>15：30～17：00</td><td>外国語</td><td></td><td></td></tr>
</table>
理科は，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」の３科目から２科目選択とします。
数学は，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ」を指定科目とします。
外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
国語は，「国語総合・現代文Ｂ」を指定科目とします。
数学Ｂの出題範囲：「数列」，「ベクトル」
国語総合の出題範囲：「近代以降の文章」
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ(50)</td><td>面接</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">1,600</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td>100</td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>700</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
３　面接の評価は調査書及び志望の動機を含みます。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査では，考察力，推理力，論理的思考力，記述力を基準に評価します。
面接では，論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む医療人としての適性を評価します。</td></tr>
</table>

合否判定基準	大学入試センター試験において，710点以上を得た受験者の中から，大学入試センター試験，個別学力検査の成績及び面接（調査書の評価及び志望の動機を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。大学入試センター試験において，710点に達しない場合は，「一般枠」で合否判定を実施します。 なお，面接の結果によっては，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。 また，総合点が同点の場合は，個別学力検査等の成績により順位を付けます。
合否判定方法等	1 「山形県定着枠」志願者は，全員「一般枠」の併願者となります。 希望により「一般枠」の合否判定基準による選抜（一般枠での選抜）を優先させることができます。「一般枠」での選抜を優先させるかどうかを，インターネット出願登録時に「入試枠」欄で選択してください。 2 「一般枠」優先を希望する場合の選抜方法について (1) 「一般枠」に組み入れて合否判定を実施します。合否判定した結果，募集人員内にあると判定された場合は「一般枠」の合格者となります。 (2) (1)の結果，「一般枠」の合格者とならなかった場合は，「山形県定着枠」での合否判定を実施します。「山形県定着枠」の合否判定は，山形県出身者と山形県外出身者をそれぞれ別枠で判定します。3(1)と合わせて合否判定した結果，募集人員内にあると判定された場合は「山形県定着枠」の合格者となります。 3 「一般枠」優先を希望しない場合の選抜方法について (1) 「山形県定着枠」での合否判定を実施します。「山形県定着枠」の合否判定は，山形県出身者と山形県外出身者をそれぞれ別枠で判定します。2(2)と合わせて合否判定した結果，募集人員内にあると判定された場合は「山形県定着枠」の合格者となります。 (2) (1)の結果，「山形県定着枠」の合格者とならなかった場合は，「一般枠」に組み入れて合否判定を実施します。合否判定した結果，募集人員内にあると判定された場合は「一般枠」の合格者となります。

（注）1　入学志願者が募集人員（65人）の５倍を超え，個別学力検査等を適切に実施できない場合には，大学入試センター試験の成績（本学科指定の科目及び配点）により第１段階選抜を行い，その合格者に対して第２段階選抜の個別学力検査等を行います。なお，第１段階選抜を実施する場合は，「一般枠」と「山形県定着枠」を一括して行います。

2　第１段階選抜の実施の有無については，令和２年２月12日（水）までに山形大学ホームページに掲載します。第１段階選抜を実施しない場合は，志願者全員に「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。

なお，第１段階選抜を実施した場合，合格者には「受験票ダウンロード通知メール」を送信し，不合格者には「第１段階選抜結果通知書」を郵送します。

3　志願状況は，山形大学ホームページで公表しますので，66ページを参照してください。

医学科・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>15人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年３月12日（木）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～13：00（予定）</td><td>面接</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ(50)</td><td>面接</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="3">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">1,000</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　面接の評価は，調査書の評価を含みます。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>面接では，論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む医療人としての適性を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験及び面接（調査書の評価を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。
なお，面接の結果によっては，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。
また，総合点が同点の場合は，面接の成績により順位を付けます。</td></tr>
</table>

（注）1　入学志願者が募集人員の10倍を超え，個別学力検査等を適切に実施できない場合には，大学入試センター試験の成績（本学科指定の科目及び配点）により第１段階選抜を行い，その合格者に対して第２段階選抜の個別学力検査等を行います。

2　第１段階選抜の実施の有無については，令和２年２月12日（水）までに山形大学ホームページに掲載します。

第１段階選抜を実施しない場合は，志願者全員に「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。

なお，第１段階選抜を実施した場合，合格者には「受験票ダウンロード通知メール」を送信し，不合格者には「第１段階選抜結果通知書」を郵送します。

3　志願状況は，山形大学ホームページで公表しますので，66ページを参照してください。

看護学科・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>35人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td><td colspan="2">令和２年２月26日（水）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>15：30～17：00</td><td>外国語</td><td>9：30～12：00（予定）</td><td>面接</td></tr>
</table>
外国語は，「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ」を指定科目とします。
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>面接</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="3">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td></td><td>800</td><td rowspan="2">1,000</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>※</td><td>200</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
4　面接（※印）については，総合判定の資料とします。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査では，英語の基礎的学力を評価します。
面接では，論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む看護職者としての適性を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験，個別学力検査の成績及び面接（調査書の評価を含みます。）の結果に基づき総合的に判定します。
なお，面接の結果によっては，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。
また，総合点が同点の場合は，個別学力検査等の成績により順位を付けます。</td></tr>
</table>

看護学科・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>５人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年３月12日（木）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～13：00（予定）</td><td>面接</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ(50)</td><td>面接</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="3">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td></td><td>800</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>
注(1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
３　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
４　面接の評価は，調査書の評価を含みます。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>面接では，論理的な思考能力とともに，コミュニケーション能力を含む看護職者としての適性を評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験及び面接（調査書の評価を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。
なお，面接の結果によっては，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。
また，総合点が同点の場合は，面接の得点により順位を付けます。</td></tr>
</table>

工学部昼間コース（昼間に授業を履修するコース）

○志願学科は，１学科のみとし，第２志願は認めません。ただし，化学・バイオ工学科及び情報・エレクトロニクス学科は，コース単位で募集を行います。

○試 験 場：工学部（米沢）試験場　　山形県米沢市城南四丁目３－16
　　工学部（名古屋）試験場　愛知県名古屋市中村区椿町２－１
　　河合塾名駅キャンパス名古屋校

※試験場は，受験票に明示します。ただし，建築・デザイン学科は，工学部（米沢）試験場のみでの実施となります。

○後期日程の志願者には，個別学力検査を課しませんので，受験のために本学部（米沢市）へ来学する必要はありません。

高分子・有機材料工学科・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>83 人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月 25 日（火）</td></tr>
<tr><td>試　験　時　間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30 ～ 11：30</td><td>理　　科</td></tr>
<tr><td>13：00 ～ 15：00</td><td>数　　学</td></tr>
</table>
理科は，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から試験当日１科目選択とします。
数学は，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ」を指定科目とします。
数学Ａの出題範囲：「整数の性質」，「図形の性質」
数学Ｂの出題範囲：「数列」，「ベクトル」
</td></tr>
<tr><td>配　点　等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試　験　区　分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆 記 (200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ (50)</td><td>小　計</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>＊100</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>＊300</td><td>＊300</td><td>200</td><td>1,000</td><td rowspan="2">1,800</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td>400</td><td>400</td><td></td><td>800</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) センター試験の＊は，傾斜配点していることを示します。
(4) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基　　準</td><td>個別学力検査では，解答の内容を基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，複数の採点者で採点します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基　　準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点と個別学力検査の得点の合計により合否を判定します（総合点方式）。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

高分子・有機材料工学科……後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>10人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>個別学力検査は課しません。</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか1教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ2科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とし，第1解答科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td></td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点により合否を判定します。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

化学・バイオ工学科‥‥‥前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>応用化学・化学工学コース　41 人
バイオ化学工学コース　41 人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月 25 日（火）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30 ～ 11：30</td><td>理　科</td></tr>
</table>
理科は，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」から試験当日１科目選択とします。
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記 (200)
リスニング (50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>＊300</td><td>1,000</td><td rowspan="2">1,400</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>400</td><td></td><td>400</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) センター試験の＊は，傾斜配点していることを示します。
(4) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 300 点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査では，解答の内容を基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，複数の採点者で採点します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点と個別学力検査の得点の合計により合否を判定します（総合点方式）。
(2)　各コースの受験者からそれぞれ 38 人を成績順に合格者とし，残りの６人程度を学科の成績順に合格者とします。
(3)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

化学・バイオ工学科‥‥‥後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>応用化学・化学工学コース　10人
バイオ化学工学コース　10人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>個別学力検査は課しません。</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか1教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ2科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とし，第1解答科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td></td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点により合否を判定します。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

情報・エレクトロニクス学科・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>情報・知能コース　44人
電気・電子通信コース　44人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～11：30</td><td>理科</td></tr>
<tr><td>13：00～15：00</td><td>数学</td></tr>
</table>
理科は，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から試験当日１科目選択とします。
数学は，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ」を指定科目とします。
数学Ａの出題範囲：「整数の性質」，「図形の性質」
数学Ｂの出題範囲：「数列」，「ベクトル」
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>＊100</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>＊300</td><td>＊300</td><td>200</td><td>1,000</td><td rowspan="2">1,800</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td>400</td><td>400</td><td></td><td>800</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) センター試験の＊は，傾斜配点していることを示します。
(4) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査では，解答の内容を基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，複数の採点者で採点します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点と個別学力検査の得点の合計により合否を判定します（総合点方式）。
(2)　各コースの受験者からそれぞれ 40 人を成績順に合格者とし，残りの８人程度を学科の成績順に合格者とします。
(3)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

情報・エレクトロニクス学科・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>情報・知能コース　10人
電気・電子通信コース　10人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>個別学力検査は課しません。</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか1教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ2科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とし，第1解答科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td></td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点により合否を判定します。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

機械システム工学科・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>87人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～11：30</td><td>理　　科</td></tr>
<tr><td>13：00～15：00</td><td>数　　学</td></tr>
</table>
理科は，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から試験当日１科目選択とします。
数学は，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ」を指定科目とします。
数学Ａの出題範囲：「整数の性質」，「図形の性質」
数学Ｂの出題範囲：「数列」，「ベクトル」
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>＊100</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>＊300</td><td>＊300</td><td>200</td><td>1,000</td><td rowspan="2">1,800</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td>400</td><td>400</td><td></td><td>800</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) センター試験の＊は，傾斜配点していることを示します。
(4) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査では，解答の内容を基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，複数の採点者で採点します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点と個別学力検査の得点の合計により合否を判定します（総合点方式）。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

機械システム工学科‥‥‥後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>10人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>個別学力検査は課しません。</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか1教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ2科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，2科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とし，第1解答科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td></td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点により合否を判定します。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

建築・デザイン学科‥‥‥前期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>17人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月25日（火）</td></tr>
<tr><td>試験時間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30～17：00（予定）</td><td>面接（口頭試問を含みます。）</td></tr>
</table>
面接（口頭試問を含みます。）は，次のとおり実施します。
※試験場は，工学部（米沢）試験場のみでの実施となります。
<table>
<tr><td>面接方法</td><td>複数の面接担当者による集団面接</td></tr>
<tr><td>面接内容</td><td>１グループ25分程度とし，以下の項目で総合的に評価できる複数の質問及び口頭試問を行います。
1　本学科志望の動機と勉学意欲
2　基礎となる学力
3　発想の豊かさと思考の柔軟性
4　科学的思考力と論理的表現力
5　社会に対する幅広い興味・関心</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>面接</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="3">いずれか1教科
100</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td></td><td>800</td><td rowspan="2">1,000</td></tr>
<tr><td>個別学力検査等</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
4　面接の評価は，調査書の評価を含みます。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>面接（口頭試問を含みます。）では，学科に関わる基礎的能力（論理的思考力，理解力，表現力等）と学習意欲・適性を総合的に評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点の合計点及び提出された調査書を総合的に評価して合否を判定します。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合には，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

建築・デザイン学科‥‥‥後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>５人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>個別学力検査は課しません。</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(100)</td><td>外国語
筆記(200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ (50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか1教科
100</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td><td rowspan="2">800</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」の素点（200）とあるのは，２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　大学入試センター試験の「理科」について，「基礎を付した科目」２科目及び「基礎を付していない科目」１科目を受験した場合は，高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は２科目の合計）を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td></td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点により合否を判定します。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

工学部フレックスコース

（本学部のフレックスコースは，夜間に開講される科目だけを履修して卒業できるように設計されていますが，学生の自由な履修計画に基づいて昼間開講科目を履修して卒業単位に含めることができます。また，２年次以降は学生の希望にあった工学部昼間コースの専門領域を学ぶことが可能です。）

○試 験 場：工学部（米沢）試験場　　山形県米沢市城南四丁目３－16
　　工学部（名古屋）試験場　愛知県名古屋市中村区椿町２－１
　　河合塾名駅キャンパス名古屋校

※試験場は，受験票に明示します。

○後期日程の志願者には，個別学力検査を課しませんので，受験のために本学部（米沢市）へ来学する必要はありません。

○日本国籍を有していない者で,「留学」での在留資格による教育を受ける場合は，出願できません。

システム創成工学科・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>35 人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">令和２年２月 25 日（火）</td></tr>
<tr><td>試　験　時　間</td><td>試験教科等</td></tr>
<tr><td>9：30 ～ 11：30</td><td>理　　科</td></tr>
<tr><td>13：00 ～ 15：00</td><td>数　　学</td></tr>
</table>
理科は,「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」から試験当日１科目選択とします。
数学は,「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ」を指定科目とします。
数学Ａの出題範囲：「整数の性質」,「図形の性質」
数学Ｂの出題範囲：「数列」,「ベクトル」
</td></tr>
<tr><td>配　点　等</td><td>
１　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試　験　区　分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆 記 (200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ (50)</td><td>小　計</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>＊100</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>＊300</td><td>＊300</td><td>200</td><td>1,000</td><td rowspan="2">1,800</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td>400</td><td>400</td><td></td><td>800</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは,それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) センター試験の＊は，傾斜配点していることを示します。
(4) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
２　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基　　準</td><td>個別学力検査では，解答の内容を基礎概念，計算，論述の過程及び答え方等について総合的に評価し，複数の採点者で採点します。</td></tr>
<tr><td>合 否 判 定基　　準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点と個別学力検査の得点の合計により合否を判定します（総合点方式)。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

システム創成工学科・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>５人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>個別学力検査は課しません。</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング(50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか1教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，それぞれ２科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」の「英語」について，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td></td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>(1)　大学入試センター試験の得点により合否を判定します。
(2)　合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</td></tr>
</table>

農　学　部

○試 験 場：農学部（鶴岡市）試験場　鶴岡市若葉町１－23
　　農学部（山形市（小白川））試験場　山形市小白川町一丁目４－12
　　※試験場は，受験票に明示します。

○後期日程の志願者には，個別学力検査を課しませんので，受験のために本学部（鶴岡市）へ来学する必要はありません。

食料生命環境学科・・・・・・前期日程

<table>
<tr><td>募 集 人 員</td><td>95 人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>
<table>
<tr><td colspan="3">令和２年２月 25 日（火）</td></tr>
<tr><td>試　験　時　間</td><td>試験教科等</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9：30 ～ 11：30</td><td>理科（化学）</td><td rowspan="3">左記の３つの教科（科目）のうち，出願時に選択した１つの教科（科目）を受験してください。</td></tr>
<tr><td>理科（生物）</td></tr>
<tr><td>12：30 ～ 14：30</td><td>数　　学</td></tr>
</table>
1　理科（化学）は，「化学基礎・化学」を指定科目とします。
2　理科（生物）は，「生物基礎・生物」を指定科目とします。
3　数学は，「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」を指定科目とします。
　ただし，数学Bの出題範囲は，「数列」，「ベクトル」とします。
4　「理科（化学），理科（生物）」と「数学」は試験時間帯が異なりますのでご注意ください。
</td></tr>
<tr><td>配　点　等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試　験　区　分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆 記 (200)
ﾘｽﾆﾝｸﾞ (50)</td><td>小　計</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか１教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">1,200</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">いずれか１教科(科目)300</td><td></td><td>300</td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，「数学」については２科目，「理科」については２科目又は３科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　大学入試センター試験の「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td>個別学力検査では，考察力，推理力，論理的思考力，記述力を基準に評価します。</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の得点と個別学力検査の得点の合計により合否を判定します。</td></tr>
</table>

食料生命環境学科・・・・・・後期日程

<table>
<tr><td>募集人員</td><td>25人</td></tr>
<tr><td>選抜日時，試験教科等</td><td>個別学力検査は課しません。</td></tr>
<tr><td>配点等</td><td>
1　配点は次のとおりです。
<table>
<tr><td>試験区分</td><td>国語
(200)</td><td>地歴
(100)</td><td>公民
(100)</td><td>数学
(200)</td><td>理科
(200)</td><td>外国語
筆記(200)
リスニング (50)</td><td>小計</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>センター試験</td><td>200</td><td colspan="2">いずれか1教科
100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td><td rowspan="2">900</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注 (1) 試験区分の（　）書は，大学入試センター試験の素点を示します。
(2) 試験区分の「数学」及び「理科」の素点 (200) とあるのは，「数学」については２科目，「理科」については２科目又は３科目を課すことによるものです。
(3) 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点は筆記 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。
2　大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とし，第１解答科目の成績を用います。
3　大学入試センター試験の「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
</td></tr>
<tr><td>採点・評価基準</td><td></td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>大学入試センター試験の得点により合否を判定します。</td></tr>
</table>

11　受験者心得

1　「大学入試センター試験受験票」及び「山形大学入学試験受験票」について

⑴　**試験当日は，「大学入試センター試験受験票」と「山形大学入学試験受験票」の２つを必ず持参し，試験場に入場する際に提示してください。**

⑵　試験場では，常に２つの受験票を携行し，受験中は係員の指示に従ってください。また，試験室等では「山形大学入学試験受験票」に記載されている大学受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。

⑶　試験当日，受験票（いずれか一方の受験票又は両受験票）を忘れた場合は，入場の際，係員に必ず申し出て，仮受験票発行の手続をとってください。

⑷　これらの受験票を紛失した場合は，速やかに志願学部の担当部署（20ページ参照）に申し出てください。

⑸　受験票は，入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので，大切に保管してください。

2　天候等により，交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し，できるだけ**試験前日までに試験場所在地に到着する**など，**各自の責任において必要な対応を取ってください。**

（注意）平成25年２月実施の前期日程試験において，試験当日，降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し，多数の受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。

3　試験場の下見を希望される方は，試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお，建物内への立ち入りはできません。

4　**試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。**

5　試験開始時刻に遅れた場合は，係員に申し出て指示を受けてください。

6　**試験開始後20分を経過した後は，試験室への入室を認めません。**

7　試験当日，交通機関の事故又は災害等が発生した場合，試験開始時刻を繰り下げることがあります。

8　筆記試験等における留意点について

⑴　**受験票のほかに試験時間中，机の上に置けるものは，鉛筆（シャープペンシルも可。），消しゴム，鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。），時計（辞書，電卓，端末等の機能があるもの，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。），直線定規，眼鏡，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。），目薬です。**

⑵　試験室では，他人のものを借用したり，共用したりしてはいけません。

⑶　試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には，挙手をして監督者の指示に従ってください。

⑷　不正行為があると認められた者の答案は，すべて無効とします。

9　**携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に，これらをかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。**

10　英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には，脱いでもらうことがあります。

11　試験時間中は，時計のアラーム等を使用してはいけません。

12　試験が午後にわたる受験者は，昼食を持参することが望まれます。

13　試験当日は，自動車・バイクによる入構を禁止します。

14　試験当日，付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。

15　受験のための宿泊施設については，本学ではあっせんしていません。

16　試験当日，試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく，トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので，十分注意してください。

　また，アンケート等と称して，住所や電話番号を書かせたりする者がいますが，これらの者についても本学と何ら関係なく，個人情報を悪用される場合がありますので，慎重に対応してください。

12　受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で，病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する者は，**令和２年１月７日（火）まで**に，以下の担当に電話連絡の上，所定の申請書に医師の診断書等を添えて提出してください。相談内容によっては，本学において事前の準備を必要とする場合がありますので，**できるだけ早めにご相談ください**。

【担当】エンロールメント・マネジメント部入試課
TEL:(023)628-4141

なお，事前相談は病気・負傷や障害等のある志願者が安心して受験に臨み，入学後スムーズに修学できるようにするためのものであり，相談内容によって志願者が不利益を被ることはありません。

提出書類等の詳細については，山形大学ホームページの「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしております。

区　分	対　象　と　な　る　者
① 視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が 0.15 以下の者 ・両眼による視野について強度視野障害のある者 ・上記以外の視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病　　弱	・慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患，消化器疾患その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発 達 障 害	・自閉症，アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害，学習障害，注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者
⑥ そ　の　他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

13　合格者の発表

⑴　発表日時及び発表方法

合格者の発表は，次のとおり行います。

試験日程	発　表　日　時	発　表　方　法
前期日程	**令和2年３月６日(金)11時**	○　本学のホームページ「入試案内」に全学部の合格者の大学受験番号を掲載します。 掲示による発表は行いません。
後期日程	**令和2年３月20日(金・祝)16時**	

（注）１　電話等による合否の問合せには，一切応じません。
２　ホームページによる合格者の発表について，発表直後にアクセスが集中し，ホームページがつながりにくい場合がありますので，その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

⑵　合格通知

合格者には，合格者の発表後，同日付けで合格通知書及び入学手続関係書類等を送付します。

14　欠員補充の方法

⑴　追加合格

入学手続完了者数が入学定員に満たない場合は，追加合格を行う場合があります。追加合格の実施の有無については，令和２年３月27日(金)18時以降に山形大学ホームページにより公表します。

なお，追加合格を行う場合の入学意思の確認は，令和２年３月28日(土)以降に，入学願書の「志願者連絡先等」欄に記入された電話番号又は携帯電話番号に問合せて行いますので，電話番号の記載に十分留意してください。

（注）本学から追加合格該当者として通知を受けた者であっても，既に他の国公立大学の追加合格に入学手続を完了した者は，それを取り消して，本学の追加合格の入学手続を行うことはできません。

⑵　欠員補充第２次募集

追加合格を行っても，なお入学定員に欠員が生じた場合には，欠員補充第２次募集を行うことがあります。

欠員補充第２次募集を実施する場合には，報道機関を通じて公表します。

15　山形大学ホームページ

山形大学の入学試験情報は，山形大学ホームページの「入試案内」及び「受験生の方」で公表します。

なお，時間帯により，つながりにくい場合がありますので，その際は，しばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

○山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」
https://www.yamagata-u.ac.jp

⑴　志願状況

令和２年１月29日(水)から公表します。

なお，出願受付期間中は，毎日19時頃に更新します（土・日曜日を除きます。)。

⑵　第１段階選抜の実施の有無について

第１段階選抜の実施の有無については，次の期日までに山形大学ホームページに掲載します。

第１段階選抜を実施しない場合は，志願者全員に「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。

なお，第１段階選抜を実施した場合，合格者には「受験票ダウンロード通知メール」を送信し，不合格者には「第１段階選抜結果通知書」を郵送します。

日　　程	学部（学科）名	期　　日
前期日程	医学部医学科	令和２年２月12日(水)までに公表します。
後期日程		

⑶　追加合格の実施の有無について

追加合格の実施の有無については，令和２年３月27日(金)18時以降に公表します。

16　入学手続

⑴　入学手続期間

①　前期日程･･･郵送により令和２年３月14日(土)まで（必着）

（持参の場合は令和２年３月14日(土)から３月15日(日)まで）

②　後期日程･･･郵送により令和２年３月26日(木)まで（必着）

（持参の場合は令和２年３月27日(金)のみ）

受付時間は，９時から16時までとします。

⑵　入学料

入学手続の際に，次の入学料を納付していただきます。

学　　部	入　学　料
人文社会科学部，地域教育文化学部，理学部，医学部，工学部昼間コース，農学部	282,000 円
工学部フレックスコース	141,000 円

（注）納付方法等詳細については，合格通知の際にお知らせします。

⑶　提出書類

詳細については，合格通知の際にお知らせします。

⑷　入学手続に関する注意事項

①　合格者で本学に入学する者は，「入学手続期間」内に郵送又は持参（代理人も可）により，所定の書類の提出及び入学料を納付し，入学手続を行ってください。詳細については，合格通知の際に連絡します。

②　入学手続に当たっては，**大学入試センター試験受験票**を提出し，これに本学の入学手続完了済の押印を受けなければなりません。

③　一つの国公立大学・学部に入学手続を行った者は，これを取り消して，他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことはできません。

④　「入学手続期間」内に入学手続を完了しなかった者は，本学への入学の意思がない者とみなし，入学を辞退したものとして取り扱います。

⑤　追加合格者は，令和２年３月28日(土)以降，本学が指定した日までに入学手続を行わなければなりません。指定した日までに入学手続を完了しなかった者は，入学を辞退したものとして取り扱います。

⑥　入学手続完了者が高等学校等を卒業又は修了できない場合は，入学を取り消します。

17　授業料

授業料については，入学後に納付していただきます。

学　　部	授　業　料	納　付　方　法
人文社会科学部，地域教育文化学部，理学部，医学部，工学部昼間コース，農学部	年額 535,800 円(予定額)	「年１回払い」,「年２回払い」,「年 10 回均等払い」及び「年 10 回ボーナス併用払い」から選択できます。
工学部フレックスコース	年額 267,900 円(予定額)	

（注）１　上記の金額は，未確定のため予定額です。

２　在学中に改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

３　納付方法等詳細については，合格通知の際にお知らせします。

18　入学案内

1　入学料・授業料以外の経費

入学時に必要となる経費として，後援会費，同窓会費，校友会費，学生教育研究災害傷害保険料等があります。詳細については，合格通知の際にお知らせします。

2　学生寮，アパート等

本学には，清明寮，北辰寮，紫苑寮，白楊寮及び啓明寮の５つの学生寮があります。

このうち，山形地区には，清明寮，北辰寮及び紫苑寮があり，人文社会科学部，地域教育文化学部，理学部及び医学部の学生は，卒業（特別な場合を除き，最長４年間（医学部医学科は６年間））まで入寮することができます。また，工学部昼間コース及び農学部の１年次学生は，１年次終了（特別な場合を除き１年間）まで入寮することができます。

ただし，工学部昼間コース建築・デザイン学科については，米沢キャンパスの施設設備の整備状況により，引き続き山形地区で履修することになった場合は，２年次以降も入寮できます。

米沢地区にある白楊寮には，工学部フレックスコースの学生と，昼間コース２年次以上の学生が入寮でき，鶴岡地区にある啓明寮には，農学部２年次以上の学生が入寮できます。

(1)　学生寮の概要

名称	定　　員	令和２年度 募集見込数等	寄宿料 （月額）	所　　在　　地	小白川キャンパス までの距離等
清明寮	男子213人 女子　87人	約90人 約30人	18,000円	〒990-2401　山形市大字平清水99	3.2km
北辰寮	男子　80人	約35人	4,300円	〒990-0034　山形市東原町4-18-31	700m
紫苑寮	女子　80人	約30人	12,000円	〒990-0039　山形市香澄町2-10-18	2.0km 参考：ＪＲ山形駅まで600m
白楊寮	男子210人 女子　40人	約３人 （フレックスコース新入生） 約１人 （フレックスコース新入生）	27,000円	〒992-0035　米沢市太田町4-1-2	参考：米沢キャンパスまで600m
啓明寮	男子　36人 女子　35人	鶴岡地区履修者	18,000円	〒997-0037　鶴岡市若葉町12-4	参考：鶴岡キャンパスまで500m

（注）１　募集見込数は，推薦入試等の入学者も含んだ全入学者からの募集人数を記載しています。
　　２　寄宿料（月額）には，食費や光熱水費等は含まれておりません。

◇　清明寮は，男子学生，女子学生及び外国人留学生が入居する混住型の学生寮です。この寮の居室内には，ミニキッチン，ユニットバス（シャワー，トイレ付き），エアコン，机，ベッド等が備え付けてあり，完全個室型の形態になっています。食事は自炊となります。

◇　北辰寮及び紫苑寮の居室は，居室内を自由に使用できるよう，机，ベッド等は備え付けていませんが，エアコンは備え付けてあります。食事は自炊となります。

この２つの寮は，１人１部屋の個室ですが，台所，トイレ，浴室等は共同利用になります。

◇　白楊寮及び啓明寮は，男子学生，女子学生及び外国人留学生が入居する混住型の学生寮です。この２つの寮の居室内には，ミニキッチン，ユニットバス（シャワー，トイレ付き），エアコン等が備え付けてあり，完全個室型の形態になっています。白楊寮では，希望者には食堂で食事を提供します（朝・夕のみ。食費別途）。啓明寮では，食事は自炊となります。

◇　農学部の１年次学生は，山形地区で履修するため，啓明寮には入寮できませんので，令和２年度の募集見込数については掲載しておりません。

⑵　**工学部と農学部の履修地に関する留意事項**

本学では，卒業までの間，大きく分けて基盤共通教育科目と専門教育科目を履修します。

このうち，１年次の基盤共通教育科目については，山形市にある小白川キャンパスにおいて開講します。

○　工学部昼間コース（建築・デザイン学科を除きます。）

２年次以降の基盤共通教育科目及び専門教育科目は，米沢キャンパスにおいて開講します（必要により居住地を変更）。

○　工学部昼間コース（建築・デザイン学科）

２年次以降の基盤共通教育科目及び専門教育科目は，米沢キャンパスにおいて開講する予定です（必要により居住地を変更）。ただし，米沢キャンパスの施設設備の整備状況により，引き続き小白川キャンパスにおいて開講する場合があります。

○　工学部フレックスコース

入学当初（１年次）から４年次までの基盤共通教育科目及び専門教育科目は米沢キャンパスにおいて開講します。

○　農学部

２年次以降の基盤共通教育科目及び専門教育科目は，鶴岡キャンパスにおいて開講します（必要により居住地を変更）。

⑶　**入寮選考等について**

入寮選考については，父と母又は父母に代わって家計を支えている方の年間所得等に基づき選考します。詳細については，山形大学ホームページの「学生生活」の「学生寮情報」及び一般入試（前期日程及び後期日程）合格者の合格通知に同封する入寮案内，入寮募集要項及び入寮願書を，ご確認ください。

なお，入寮等に関するお問合せや入寮願書等の請求先は，次のとおりです。

○山形地区学生寮に入寮を希望する方（工学部フレックスコース合格者は除く。）

〒990-8560　山形市小白川町一丁目４-12
山形大学小白川キャンパス事務部学生･キャリア支援課学生企画･課外･寮務担当
TEL：(023)628-4135　　FAX：(023)628-4957
E-mail：gskgaryo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

○米沢地区白楊寮に入寮を希望する方（工学部フレックスコース合格者のみ）

〒992-8510　米沢市城南四丁目3-16
山形大学米沢キャンパス事務部学務課学生支援担当
TEL：(0238)26-3017　　FAX：(0238)26-3406
E-mail：kougakusei@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

⑷　**山形地区学生寮及び米沢地区白楊寮の入寮願書交付及び受付期間（出願期間）について**

①入寮願書の交付

一般入試（前期日程及び後期日程）の合格者の合格通知に同封します。

（注）入寮願書等については，山形大学ホームページの「学生生活」の「学生寮情報」からも入手可能です。

○山形大学ホームページの「学生生活」のアドレス

https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/

②入寮願書受付期間

入寮願書には，家計評価額を算定するため，父と母又は父母に代わって家計を支えている方の年間総所得が記載されている証明書が必要です。山形地区学生寮に入寮を希望する方は，市区町村役場等が発行する最新の「所得証明書」(※)及び給与所得者は令和元年分の「源泉徴収票」(写し可)，自営業等の方は「確定申告書」の写しを，あらかじめ取り寄せて準備しておいてください。米沢地区白楊寮に入寮を希望する方は,「所得証明書」(※)のみ準備しておいてください。

(※) 令和２年３月の出願時では，平成30年分の証明が最新のものになります。

なお，収入がない場合も「所得０円」の所得証明書が必要です。

また，家族の状況により，他に書類が必要な場合があります。詳細は入寮願書に記載してある提出書類をご確認ください。

山形地区学生寮

前期日程　令和２年３月６日(金)～３月12日(木)16時[必着]

後期日程　令和２年３月23日(月)～３月25日(水)12時[必着]

米沢地区白楊寮

前期日程　令和２年３月９日(月)～３月13日(金)16時[必着]

後期日程　令和２年３月23日(月)～３月25日(水)16時[必着]

⑸　山形地区学生寮及び米沢地区白楊寮の選考結果について

入寮許可者については，山形大学ホームページの「学生生活」の「学生寮情報」に山形大学受験番号を掲載するとともに，入寮許可書等を郵送します（米沢地区白楊寮の選考結果は，米沢キャンパス内にも掲示します。)。

なお，選考結果について，電話による照会には応じますが，入寮不許可の方には通知いたしませんので，ご了承ください。

山形地区学生寮

〈前期日程に係る選考結果発表日　令和２年３月19日(木)15時(予定)〉

〈後期日程に係る選考結果発表日　令和２年３月27日(金)15時(予定)〉

米沢地区白楊寮

〈前期日程に係る選考結果発表日　令和２年３月19日(木)15時(予定)〉

〈後期日程に係る選考結果発表日　令和２年３月27日(金)15時(予定)〉

⑹　学生寮に関する情報について

学生寮に関する諸情報については，山形大学ホームページの「学生生活」の「学生寮情報」をご覧ください。

なお，その他ご不明な点がある場合は，山形地区学生寮については，小白川キャンパス事務部学生・キャリア支援課学生企画・課外・寮務担当，米沢地区白楊寮については，米沢キャンパス事務部学務課学生支援担当にお問合せください（69ページ⑶参照）。

⑺　アパート等について

大学周辺には，数多くのアパート等が建てられており，山形大学生活協同組合や市内のアパート等関連業者があっせんを行っております。

なお，アパート等の料金は部屋の構造，広さ，建物の経過年数により異なりますが，おおむね次のとおりです。

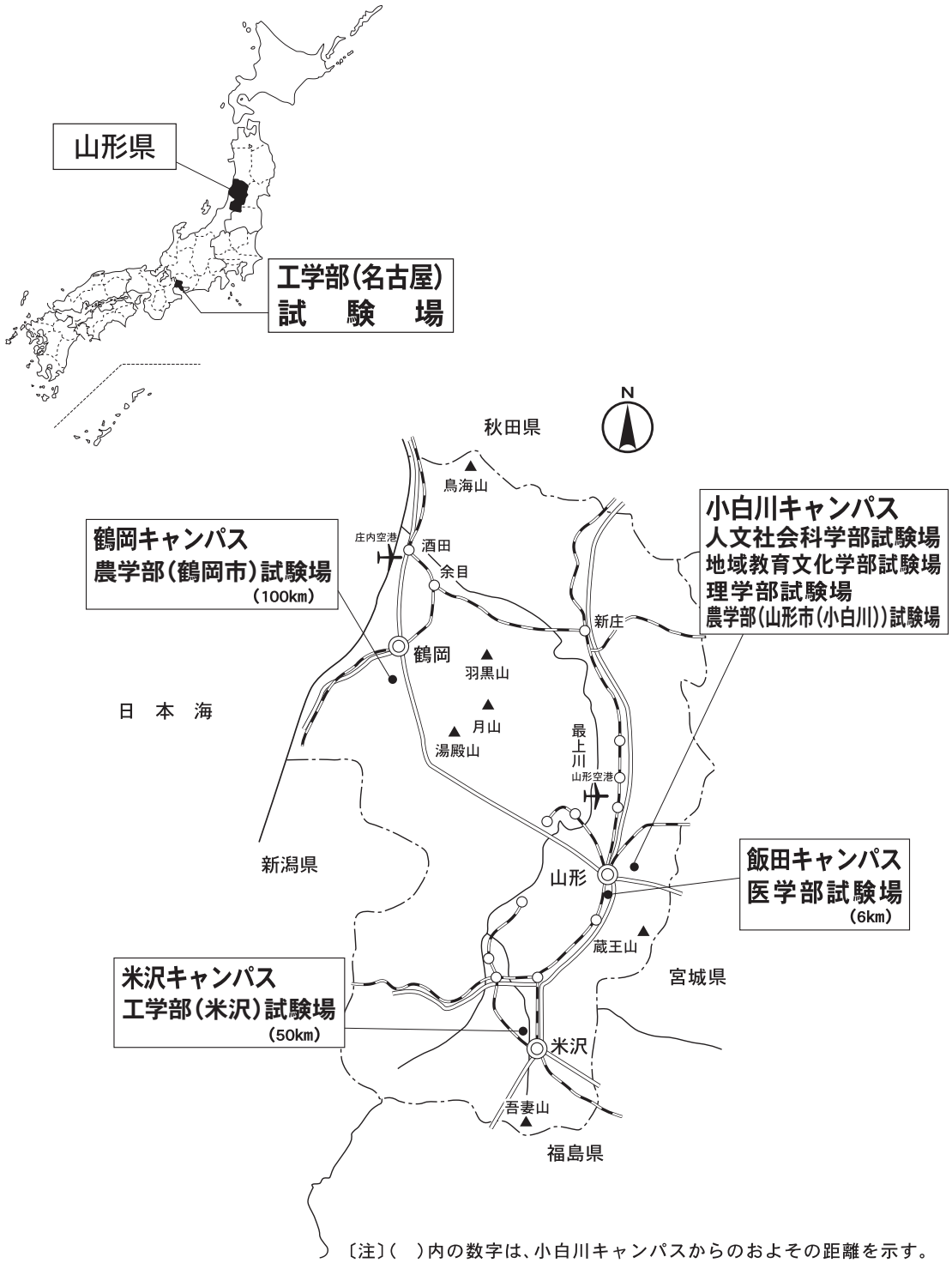
◎アパート等（６畳～８畳）

・バス，トイレ一体型　20,000円～35,000円　　・バス，トイレ独立型　30,000円～50,000円

19　試験場案内

個別学力検査等は，下記の試験場でそれぞれ実施する予定ですが，各学部の志願者数によっては，学外試験場を設定することがあります。

なお，試験場は，各自で印刷した本学受験票に記載してありますので必ず確認してください。試験場の下見を希望される方は，試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。



〔注〕(　)内の数字は、小白川キャンパスからのおよその距離を示す。

小白川キャンパス

人文社会科学部試験場，地域教育文化学部試験場，理学部試験場，農学部（山形市（小白川））試験場　山形市小白川町一丁目４－12

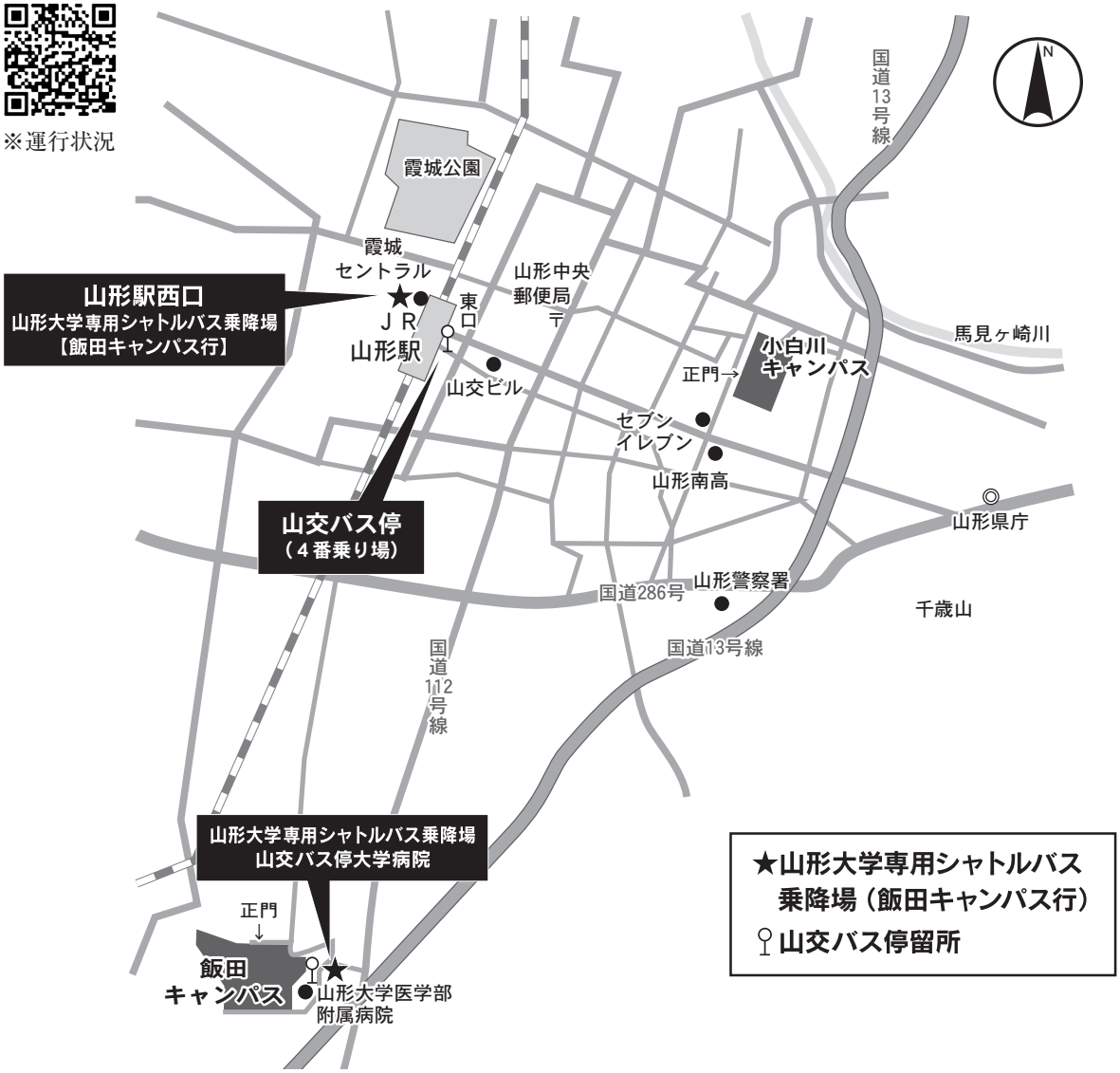
ア　ク　セ　ス		所要時間
徒歩	ＪＲ山形駅東口から，東方へ約2.3km	約 35 分
山形大学専用シャトルバス	**前期日程及び後期日程**の試験当日には，ＪＲ山形駅東口停留所と小白川キャンパスを結ぶシャトルバスを無料でご利用いただけます。 ・入試当日はキャンパス付近の混雑が予想されますので，時間に余裕をもってお越しください。 ・時刻表等の詳細については，本学ホームページでご確認ください。	約 10 分
市民バス（※）	・ＪＲ山形駅東口特設停留所から「東部エリア・東原町先回りコース」バス（ベニちゃんバス東くるりん）で「山大前」下車（約９分），徒歩１分 ・ＪＲ山形駅東口特設停留所から「東部エリア・小荷駄町先回りコース」バス（ベニちゃんバス東くるりん）で「山大前」下車（約19分），徒歩１分 ・時刻表等の詳細については，山形市公式ホームページでご確認ください。（https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/）	東原町先回りコース 約 10 分 小荷駄町先回りコース 約 20 分
路線バス（山交バス）（※）	ＪＲ山形駅東口停留所（５番乗り場）から「宝沢・関沢」行きバスで「小白川一丁目」下車（約11分），徒歩３分	約 14 分
	ＪＲ山形駅東口停留所（４番乗り場）から「山形県庁」行きバスで「南高前・山大入口」下車（約７分），徒歩７分	約 14 分
	ＪＲ仙台駅前から「山形駅前」行き高速バスで「南高前・山大入口」下車（約60分），徒歩７分	約 67 分

※運行状況

飯田キャンパス　**医学部試験場**　山形市飯田西二丁目２－２

ア　ク　セ　ス		所要時間
徒歩	ＪＲ山形駅東口から南方へ約４km	約 65 分
山形大学専用シャトルバス（前期日程のみ）	**前期日程**の試験当日には，ＪＲ山形駅西口と飯田キャンパスを結ぶシャトルバスを無料でご利用いただけます**（後期日程は運行しませんのでご注意ください。）**。 ・入試当日はキャンパス付近の混雑が予想されますので，時間に余裕をもってお越しください。 ・時刻表等の詳細については，本学ホームページでご確認ください。	約 25 分
路線バス（山交バス）（※）	ＪＲ山形駅東口停留所（４番乗り場）から「大学病院・東海大山形高」行きバスで「大学病院」下車	約 15 分

※運行状況

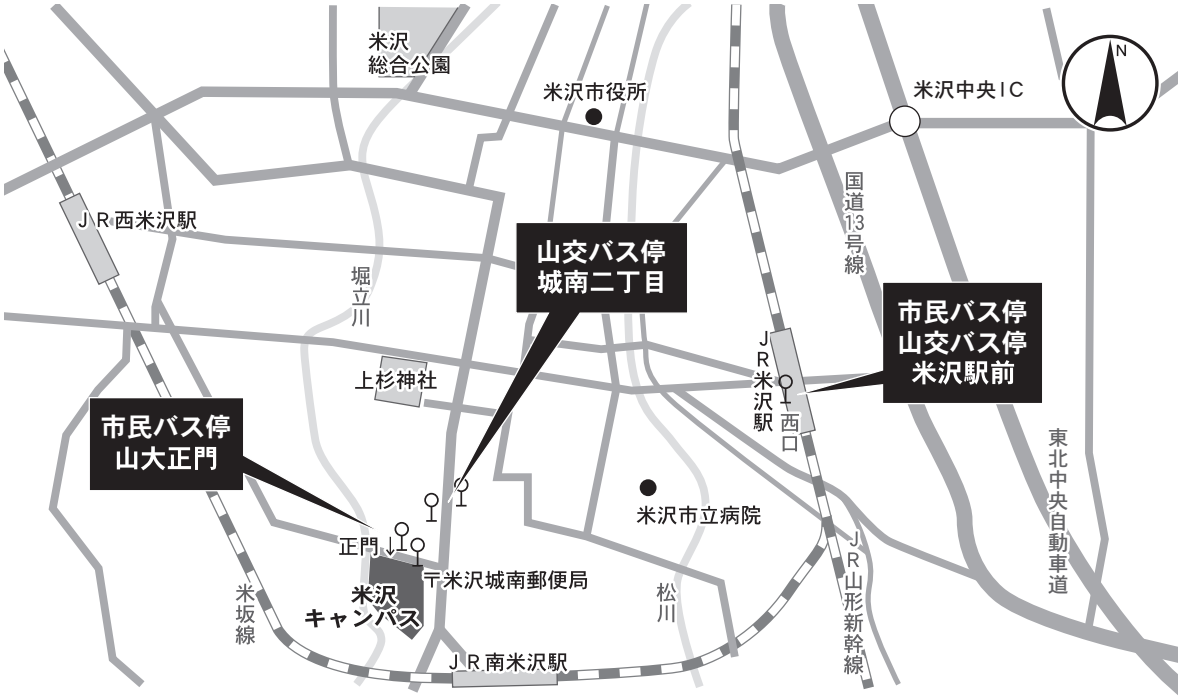


米沢キャンパス

工学部（米沢）試験場　米沢市城南四丁目３－16

※ＪＲ山形駅からＪＲ米沢駅までの所要時間は約45分

アクセス		所要時間
徒歩	ＪＲ米沢駅から南西へ約3.4km	約 55 分
	ＪＲ南米沢駅出口から北西へ約１km	約 15 分
市民バス	ＪＲ米沢駅前停留所から「市街地循環バス右回り（ヨネザアド号（青色のバス））」で「山大正門」下車 ※運行状況：https://www1.busnav.net/yonezawa/	約 15 分
路線バス（山交バス）	ＪＲ米沢駅前停留所から「白布温泉」行きバスで「城南二丁目」下車（約 10 分），徒歩３分	約 13 分



河合塾名駅キャンパス名古屋校

工学部（名古屋）試験場

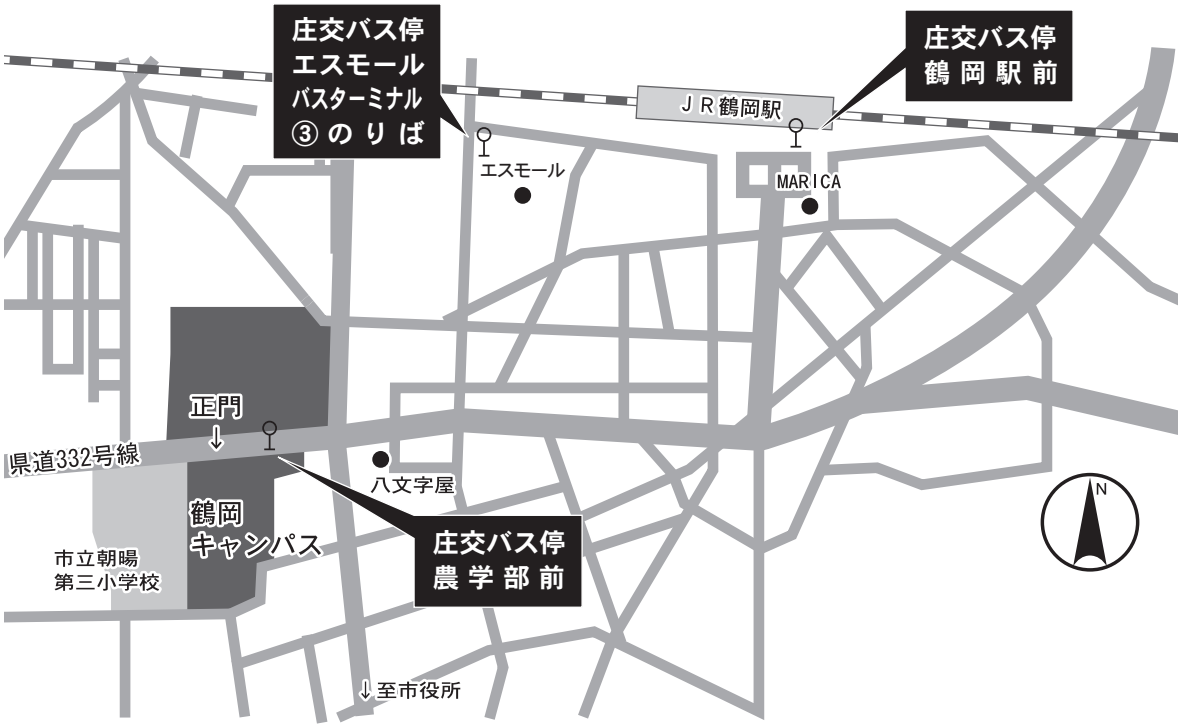
愛知県名古屋市中村区椿町２－１

アクセス（徒歩）	所要時間
ＪＲ名古屋駅太閤通口より	約１分
名鉄名古屋駅，近鉄名古屋駅，地下鉄名古屋駅より	約４分

鶴岡キャンパス　**農学部（鶴岡市）試験場**　鶴岡市若葉町１－23

※ＪＲ山形駅から鶴岡エスモールまでの所要時間は，高速バス約 120 分

ア　ク　セ　ス		所要時間
徒歩	ＪＲ鶴岡駅から南西へ約1.4km	約 20 分
路線バス	ＪＲ鶴岡駅前停留所から「鶴岡市内廻り３コース」で「農学部前」下車 ※便数が少ないため，ご利用の際は運行状況をご確認ください。 運行状況：http://www.shonaikotsu.jp/local_bus/route.html#tsuruoka	約７分



☆　入学試験情報開示

1　合格最高点・最低点及び合格者の平均点について

合格最高点・最低点及び合格者の平均点は，山形大学ホームページにより公表します。
なお，合格者が10人以下の学科等については，公表しません。

2　入学試験個人成績及び調査書の開示・請求方法について

⑴　開示請求受付期間　令和２年５月１日～５月31日（消印有効）
受付時間は，９時から16時30分までとします（土・日曜日，祝日を除きます。）。

⑵　請求者　受験者本人に限ります（代理人による請求は認めません。）。

⑶　請求方法　受験した学部の担当部署（20ページ参照）の窓口への持参又は郵送により受け付けます。次の①～③の書類により申し込んでください。
なお，郵送による申込の場合は，受験した学部の入試担当宛ての封筒の表に「○○学部入試成績開示申込み」と朱書きしてください。

①　令和２年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書
※申込書は，令和２年４月中旬以降，山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」からダウンロードしてください。

②　本学受験票（写しは不可）
※持参による申込の場合は申込時に返却し，郵送による申込の場合は返送時に同封して返却します。

③　返信用封筒（長形３号（23.5㎝×12㎝）に414円分の切手をはり，請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの）

⑷　開示方法　請求のあった日の翌日以降２週間以内を目途に，郵送（簡易書留）により開示します。
ただし，請求状況によっては，時間を要する場合がありますので，ご了承願います。

大学案内及び各学部のパンフレット請求方法

◎　大学案内及び各学部のパンフレットをご希望の方は以下により請求してください。
なお，請求される際は，テレメールが定める個人情報の取扱いについてご確認くださいますようお願いいたします。

１　山形大学ホームページからの請求方法

本学ホームページ(https://www.yamagata-u.ac.jp)「入試案内」又は「受験生の方」の「資料請求」から，直接テレメールによる請求ができます。

２　テレメールによる請求方法

インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話で請求できます。

テレメール

パソコン・スマートフォン・携帯電話	自動音声応答電話
https://telemail.jp ※スマートフォン・携帯電話でバーコードを読み取り，アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	ＩＰ電話※ 050-8601-0101 (24 時間受付)

※ＩＰ電話：一般電話回線からの通話料金は，日本全国どこからでも３分ごとに約 12 円です。
※自動音声応答電話によるご請求の場合，住所・氏名の録音時は，ゆっくりはっきりとお話しください。録音された音声が不鮮明な場合は，電話で住所・氏名を確認することがありますので，電話番号は必ずご登録ください。

【料金の支払い方法】

資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上，資料到着後２週間以内に表示料金をお支払いください。なお，支払い手数料が別途必要です（コンビニ支払いは 88 円。ゆうちょ銀行･郵便局のＡＴＭ扱いは 150 円，窓口扱いは 200 円。ケータイ払いは 50 円。クレジットカード払いは 50 円。）。

また，複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

テレメールでの請求方法についてのお問合せは
テレメールカスタマーセンター　０５０-８６０１-０１０２（9：30～18：00）まで

〔入　試　情　報〕

■山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」
https://www.yamagata-u.ac.jp

◎お問合せ先

内　　容	担当部署	住　　所	電話番号
入試全般に関すること	ｴﾝﾛｰﾙﾒﾝﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目４－12	(023) 628-4141
人文社会科学部に関すること	小白川キャンパス事務部入試課 人文社会科学部担当		(023) 628-4207
地域教育文化学部に関すること	小白川キャンパス事務部入試課 地域教育文化学部担当		(023) 628-4310
理学部に関すること	小白川キャンパス事務部入試課 理学部担当		(023) 628-4710
医学部に関すること	医学部入試担当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目２－２	(023) 628-5049
工学部に関すること	工学部入試担当	〒992-8510 米沢市城南四丁目３－16	(0238) 26-3013
農学部に関すること	農学部入試担当	〒997-8555 鶴岡市若葉町１－23	(0235) 28-2808

(注)　お問合せは，８：30～17：00（土・日曜日，祝日及び12月30日～１月３日を除く。）の時間帯でお願いします。

発行年月：令和元年11月
作　　成：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課
〒990-8560　山形市小白川町一丁目４－12
TEL　(023) 628-4141